

第4次 袋井市スポーツ推進計画

令和3年度～令和7年度



令和3年3月

袋井市



目 次

第 1 章 計画策定にあたって	1
1 計画策定の意義	1
2 国や県の動き	2
3 袋井市の取り組み	3
4 計画の位置づけ	4
5 計画の期間	4
第 2 章 スポーツを取り巻く状況	5
1 本市の公共スポーツ施設	5
2 市民のスポーツに関する意識調査の結果について	7
3 前期計画の検証・評価と現状	28
4 課題のまとめ	32
第 3 章 第 4 次袋井市スポーツ推進計画	36
1 基本方針	36
2 基本目標	37
3 施策体系図	38
4 成果指標一覧	40
5 重点施策	41

第4章 施策の展開	45
1 多様性に応じたスポーツ活動の推進	45
2 誰もが気軽に取り組めるスポーツ環境の提供	52
3 スポーツ活動を支える環境の充実	55
4 アスリートの育成とトップスポーツに触れる機会の創出	62
5 スポーツを通じた地域の活性化	68
第5章 スポーツ推進計画の実現に向けて	75
1 各主体の役割	75
2 計画の推進体制	77
資料編	78
1 スポーツを取り巻く現状	78
2 計画策定の経緯	93



計画策定にあたって

1 計画策定の意義

スポーツは、体力を向上させ、健康を維持・増進させるだけではなく、喜びや達成感にもつながります。また、スポーツに懸命に取り組む姿は、多くの人に感動を与え、スポーツによる競争とその努力の過程は、人間的な成長を促し、仲間とのチームワークやフェアプレーの精神を育みます。

平成 23 年に公布された国の「スポーツ基本法」では、「スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは、全ての人々の権利であり、全ての国民がその自発性の下に、各々の関心、適性等に応じて、安全かつ公正な環境の下で日常的にスポーツに親しみ、スポーツを楽しみ、又はスポーツを支える活動に参画することのできる機会が確保されなければならない。」としており、スポーツは単なる運動にとどまらず、権利として保障されるべきものであり、QOL（生活の質）の向上という点において、非常に重要な役割を果たしています。

また、令和元年は、全国 12 都市でラグビーワールドカップ 2019TMが開催され、袋井市に所在する小笠山総合運動公園エコパスタジアムで行われた試合では 4 試合で延べ 17 万人以上の観客を動員し、日本代表がアイルランド代表を相手に大金星を挙げるなど、袋井市内のみならず、国内でのスポーツに対する機運は高まりをみせています。

一方で、令和 2 年は、新型コロナウイルスの感染拡大により、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の延期、また、全国高等学校総合体育大会をはじめとする大規模スポーツイベントの中止や、各種プロスポーツの開催時期・方法の変更など、すべてのスポーツ推進に大きな衝撃、影響を与えています。

このような中、令和 2 年度で「第 3 次袋井市スポーツ推進計画」の計画期間が満了となることから、同計画に基づき展開してきた施策や現在のスポーツを取り巻く状況、課題等を整理・検証するとともに、「スポーツ基本法」及び国・県の計画、さらには、新型コロナウイルスによる影響を含む社会全体の情勢を踏まえ、本市が計画的、かつ総合的に市民のスポーツ推進に取り組んでいくため、「第 4 次袋井市スポーツ推進計画」を策定するものです。

2 / 国や県の動き

(1) 国の動向

国では、平成 23 年 6 月に「スポーツ振興法」を 50 年ぶりに改定し、新たに「スポーツ基本法」を制定しました。また、同法に基づき平成 24 年 3 月に、今後 10 年間を見通したスポーツ推進の基本方針、今後 5 年間に総合的かつ計画的に取り組むべき施策を定めた「スポーツ基本計画」を策定しました。

その後、平成 27 年 10 月にスポーツ庁が新設され、国のスポーツ振興や、その他のスポーツに関する施策の総合的な推進に向けて取り組んでいます。

また、平成 29 年 3 月に国が「スポーツ基本計画」を見直し、「第 2 期スポーツ基本計画」を策定しています。スポーツ立国の実現をめざす上での重要な指針を定めた同計画では、「スポーツの価値」を具体化して発信するとともに、障がい者スポーツの振興やスポーツ産業の成長等、スポーツ庁の重点施策を盛り込み、数値を含む成果指標を第 1 期計画と比較し大幅に増加（8 項目→20 項目）しています。さらに、平成 30 年 9 月には、スポーツ基本法や同計画を踏まえ、一人でも多くの国民がスポーツに親しむ社会の実現を目的に『スポーツ実施率向上のための行動計画～「スポーツ・イン・ライフ」を目指して～』が策定されました。

(2) 静岡県の動向

静岡県では、平成 23 年 3 月に「静岡県スポーツ振興基本計画」を策定し、基本理念である『「ふじのくに」生涯スポーツ社会の実現』を目指した各種施策を展開してきました。

また、スポーツ基本法の制定を受け、平成 26 年 7 月には、「静岡県スポーツ推進計画」を策定し、平成 30 年 3 月の改訂では、その後の社会情勢や国の動向を踏まえ、新たに「スポーツの聖地づくり」を理念に掲げ、改訂前の理念を継承しつつ、スポーツをきっかけとする多様な交流や、地域の活性化、競技力の向上などに向け、理念を具現化する取り組みを推進しています。

特に、ラグビーワールドカップ 2019™及び東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会における自転車競技（ロードレース、マウンテンバイク、トラック）といった世界的イベントの開催により、スポーツを通じた活力ある地域社会の形成や国内外との交流機会の充実、人材育成に努めています。

3 袋井市の取り組み

本市では、『第3次袋井市スポーツ推進計画』に基づき、「するスポーツ」、「観るスポーツ」、「支える（育てる）スポーツ」を施策の3本柱として、ウォーキングやニュースポーツの普及といった生涯スポーツの振興をはじめ、アスリート育成に繋がる競技スポーツの推進、ラグビー観戦啓発といった観るスポーツの推進など、それぞれ目標達成に向け各種施策を展開してきました。

また、新たなスポーツ活動の拠点として、市内初となる民間資金や経営能力などを活かしたPFI事業により市総合体育館を整備しました。愛称についても、本市で初となるネーミングライツにより、[さわやかアリーナ]として、令和2年4月に供用を開始し、快適な回遊性と機能性を有した運動施設とともに、カフェの併設や屋外大型遊具の設置などで市民の憩いの場としての機能も果たしています。

平成30年から3年をかけて取り組んだスポーツドリーム推進事業においては、平成30年に全国高等学校総合体育大会（インターハイ）弓道競技を開催し、地域を挙げたおもてなしを行うとともに、弓道体験コーナーの設置などで競技の振興を図りました。また、ラグビーワールドカップ2019™では、ラグビーの普及啓発及び大会当日のおもてなしやシティプロモーションなどに取り組みました。特に、試合当日に愛野駅周辺に静岡県や関係各市と設置した「おもてなしエリア」には、4日間で延べ11万人を超える観戦客が来場し、観戦客のおもてなしと、スポーツを通じた地域の魅力発信に努めました。さらには、東京2020オリンピック・パラリンピックに向けては、アイルランドオリンピックチームの事前キャンプを誘致し、キャンプ受入れに向けた各種準備や市民との交流機会の創出に向けた取り組みを進めています。

今後は、新型コロナウイルスの感染拡大防止など通常のスポーツ活動の展開に影響を及ぼす外的要因への対応を考慮しつつ、健康増進としての市民のスポーツへの取組意欲を向上する施策とあわせて、ICTを活用した施設予約など利便性の向上、東京2020オリンピック・パラリンピックによるスポーツの機運醸成、アイルランドオリンピックチーム事前キャンプ受入れに伴うまちの国際化、各種全国大会などにおけるシティプロモーションなど、スポーツを活かした地域の活性化にも努めていきます。



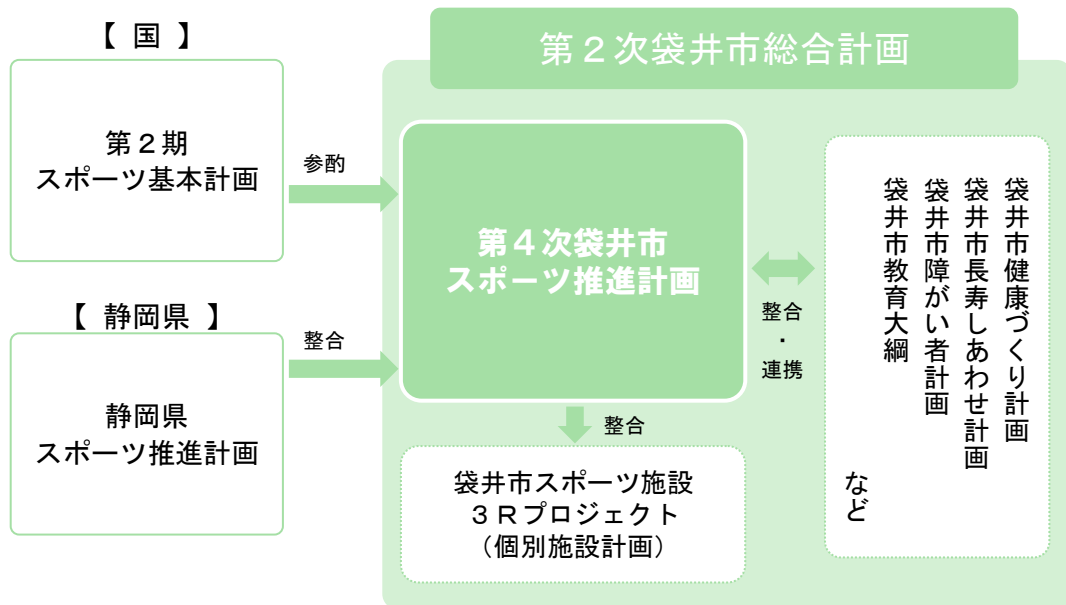
RWC2019™ エコパ周辺の賑わい



アイルランドオリンピック委員会との調印式

4 計画の位置づけ

- (1) 国のスポーツ基本法に規定する地方スポーツ推進計画として、国の「第2期スポーツ基本計画」を参酌するとともに、平成30年に策定された「静岡県スポーツ推進計画」との整合を図り、本計画を策定します。
- (2) 本計画は、「第2次袋井市総合計画（後期計画）」を上位計画として整合性のあ
る具体的な施策を定めるほか、本市における様々な分野の諸計画の内容を踏まえ、
本市の将来像である「活力と創造で 未来を先取る 日本一健康文化都市」の実現に
向けたスポーツ推進施策を計画的かつ総合的に定める計画として位置付けます。加
えて、市内公共スポーツ施設の在り方や整備方針に関する「袋井市スポーツ施設3R
プロジェクト（個別施設計画）」の上位計画としても位置付けます。



5 計画の期間

本計画は、令和3年度から令和7年度までの5か年を計画期間とします。なお、この期間中、計画の進行状況や社会情勢等の変化により、必要に応じて計画の見直しを行います。

計画名	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
(国) 第2期スポーツ基本計画	▶					
静岡県スポーツ推進計画	▶					
第2次袋井市総合計画	前期計画	後期計画 ▶				
第4次袋井市スポーツ推進計画	第3次計画	▶				

スポーツを取り巻く状況

1 本市の公共スポーツ施設

市内には、約 30 ヶ所の公共スポーツ施設があり、その多くは整備から 30 年以上が経過し、老朽化が進んでいます。

なお、令和 2 年 4 月には新たなスポーツの拠点となる総合体育館「さわやかアリーナ」の供用を開始し、市民のスポーツ活動の幅がさらに広がっています。

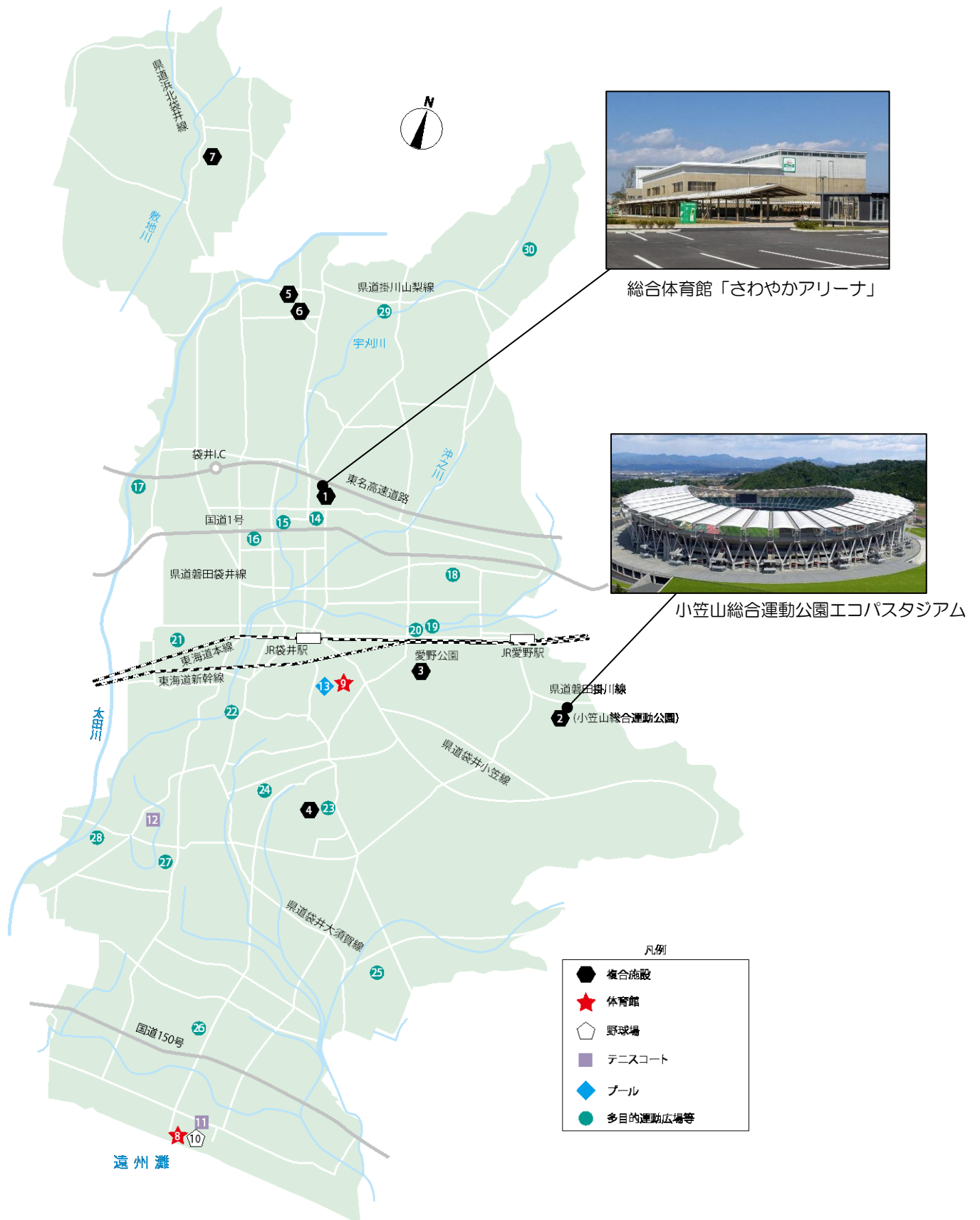
市内の公共スポーツ施設一覧

区分	番号	施設名	施設機能
複合施設	1	総合体育館「さわやかアリーナ」	競技場、トレーニング室、武道場、多目的室（フィットネス）等
	2	【県施設】 小笠山総合運動公園エコパ	陸上トラック、サッカー場、競技場、トレーニング室、研修室（フィットネス）、多目的運動広場等
	3	愛野公園	野球場、テニスコート、弓道場、相撲場
	4	風見の丘	プール、トレーニング室、フィットネス室
	5	月見の里学遊館	プール、トレーニング室、フィットネス室
	6	山名コミュニティセンター	テニスコート、トレーニング室
	7	三川地区コミュニティ広場	テニスコート、多目的運動広場

区分	番号	施設名
体育館	8	浅羽体育センター
	9	袋井体育センター
野球場	10	浅羽球技場
テニスコート	11	浅羽テニスコート
	12	長溝テニスコート
プール	13	袋井 B&G 海洋センター
多目的運動広場等	14	袋井北地区コミュニティ広場
	15	国道 1 号バイパス高架下多目的広場
	16	堀越公園多目的広場
	17	虹のささやき公園グラウンド
	18	袋井東地区コミュニティ広場
	19	広岡河川公園グラウンド

区分	番号	施設名
多目的運動広場等	20	原野谷川親水公園東側広場
	21	田原緑地グラウンド
	22	原野谷川スポーツ公園グラウンド
	23	中遠クリーンセンター多目的広場
	24	浅羽北多目的運動広場
	25	笠原地区コミュニティ広場
	26	浅羽東多目的運動広場
	27	浅羽西多目的運動広場
	28	二瀬多目的運動広場
	29	(仮称) 春岡多目的広場
	30	宇刈里山公園多目的広場

市内の公共スポーツ施設の位置



2 市民のスポーツに関する意識調査の結果について

本市のスポーツの現状を「第3次袋井市スポーツ推進計画」の基本目標の5つの視点から、市民のスポーツに関する意識について分析しました。

【調査概要】

調査名：第4次袋井市スポーツ推進計画策定等に係る市民意識調査

調査対象：袋井市在住の18歳以上を無作為抽出

調査期間：令和2年6月1日から令和2年6月15日

調査数等：配布3,000件 回数1,253件 有効回答率41.8%

※調査結果の割合については、小数第二位を四捨五入しているため、合計100%とならない場合があります。

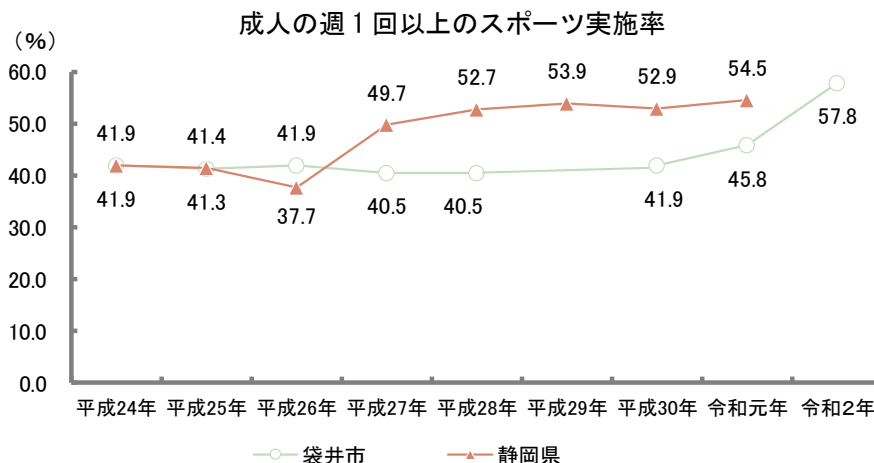
(1) 生涯スポーツの推進

<特徴>

- ・成人の週1回以上のスポーツ実施率は、増加している。
- ・スポーツ実施率はシニア世代で高く、30～40歳代では低い。また、行わない理由は、「仕事、家事、育児などで忙しく時間がない」が高い。
- ・障がい者スポーツについて、「関心がある」「やや関心がある」がおよそ4割となっている。
- ・障がい者スポーツやパラリンピック競技種目を観戦または見たことがあるかについて、テレビ、ラジオ、インターネット配信等も含めた「見た」が高く、「実際に見た」は1.8%とわずかである。また、障がい者スポーツを体験・経験したことがあるかについてはおよそ6%と少ない。

① 成人の週1回以上のスポーツ実施率

成人の週1回以上のスポーツ実施率は、「令和元年度 袋井市総合計画推進に係る市民意識調査」によると45.8%となっており、近年はほぼ横ばいで推移してきましたが、本調査では57.8%と近年の数値を大きく上回りました。ウォーキングやランニングなど、いつでも手軽にできる個人スポーツが好まれる傾向にあることが考えられます。

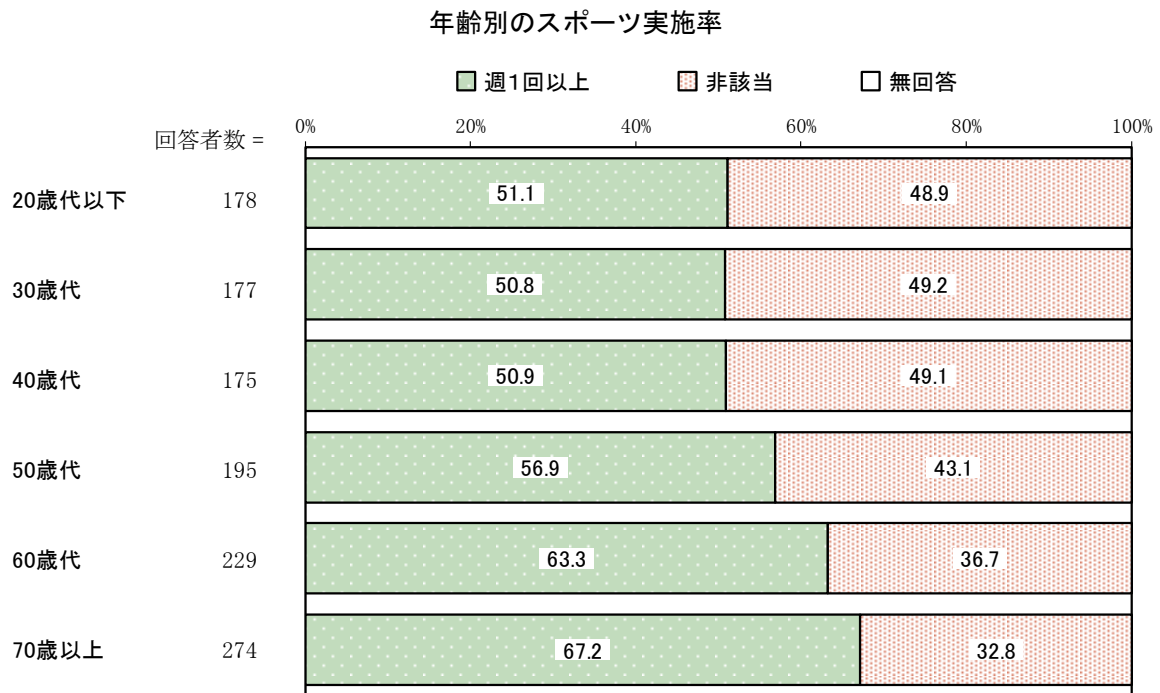


※平成30年までは20歳以上、令和元年からは18歳以上を成人としています。

② 年齢別のスポーツ実施率

ウォーキングや体操など気軽にできる生涯スポーツの啓発により、シニア世代でのスポーツ実施率は高くなっていますが、子育てや仕事などで忙しい30～40歳代のスポーツ実施率は低くなっています。

性・年齢別でみると、男性では、年齢が高くなるにつれスポーツ実施率が高くなっています。女性では、50歳以上でスポーツ実施率が高くなっています。



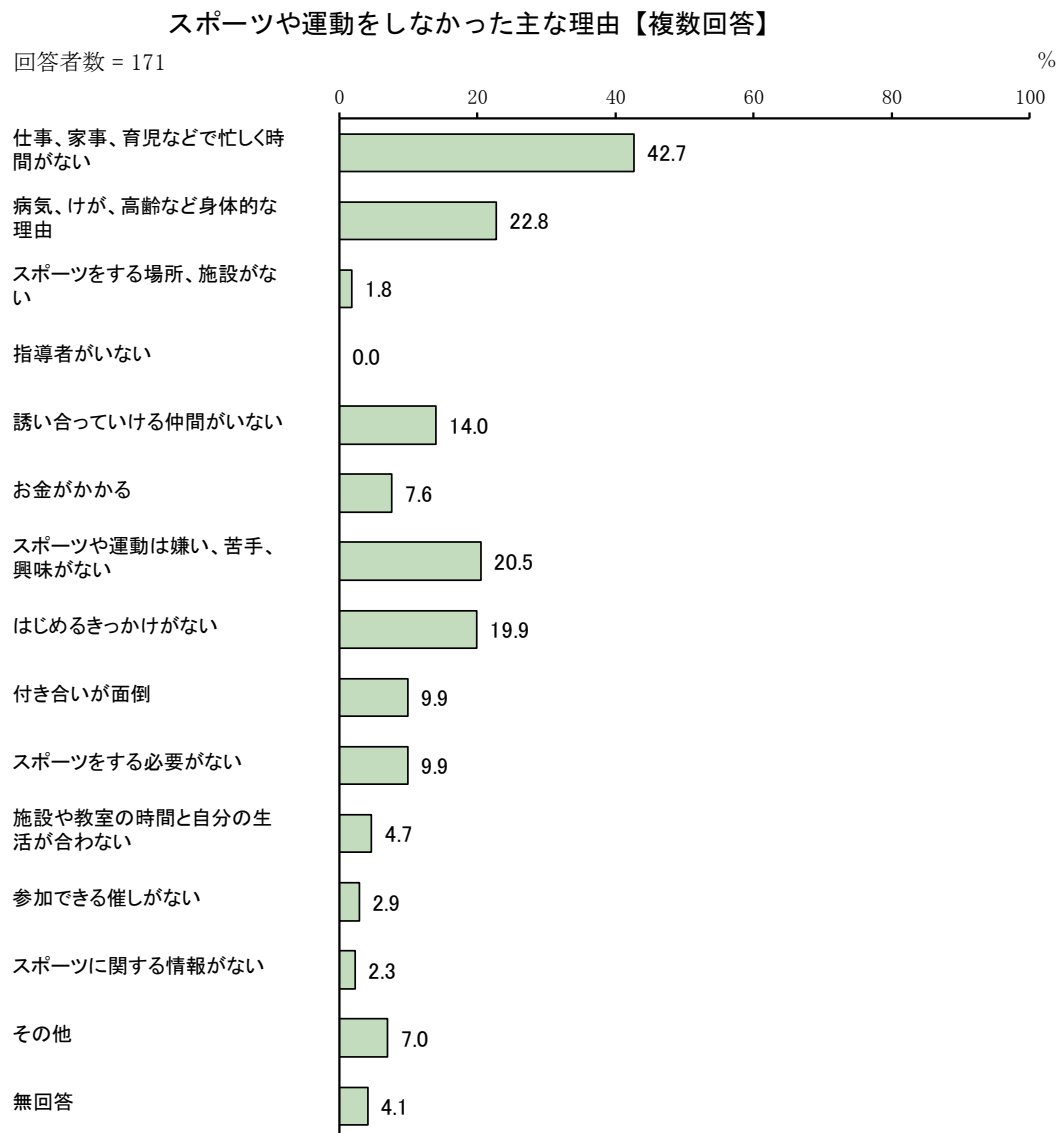
性・年齢別のスポーツ実施率

単位：%

区分	有効回答数(件)	週1回以上	非該当	無回答
男性 20歳代以下	60	48.3	51.7	—
30歳代	76	48.7	51.3	—
40歳代	83	50.6	49.4	—
50歳代	102	55.9	44.1	—
60歳代	124	66.9	33.1	—
70歳以上	147	74.8	25.2	—
女性 20歳代以下	117	53.0	47.0	—
30歳代	100	53.0	47.0	—
40歳代	92	51.1	48.9	—
50歳代	92	57.6	42.4	—
60歳代	104	58.7	41.3	—
70歳以上	124	57.3	42.7	—

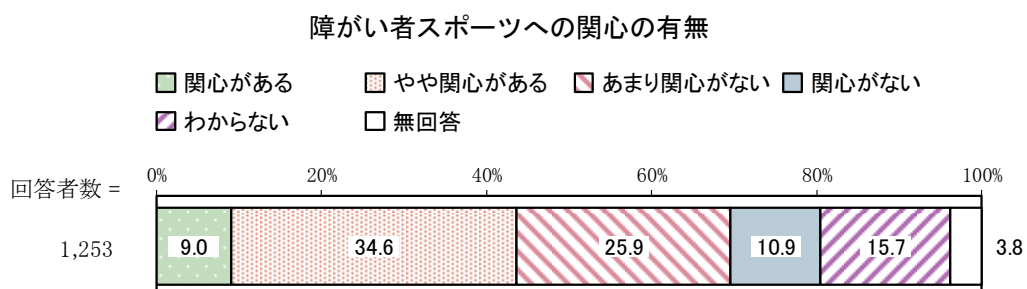
③ スポーツや運動をしなかった主な理由

「仕事、家事、育児などで忙しく時間がない」が42.7%と最も高くなっています。



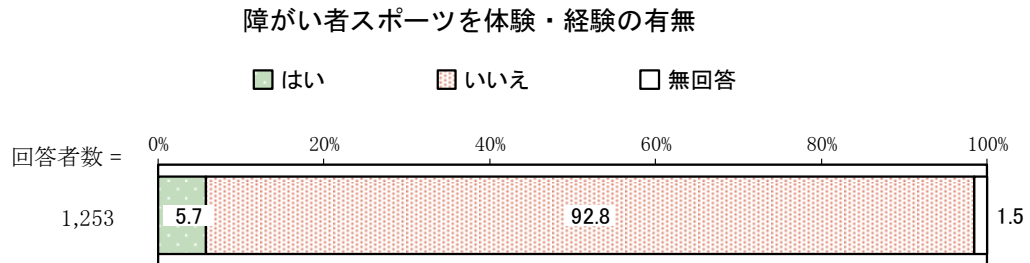
④ 障がい者スポーツに関心があるか

「関心がある」「やや関心がある」の割合が43.6%となっています。



⑤ 障がい者スポーツを体験・経験したことがあるか

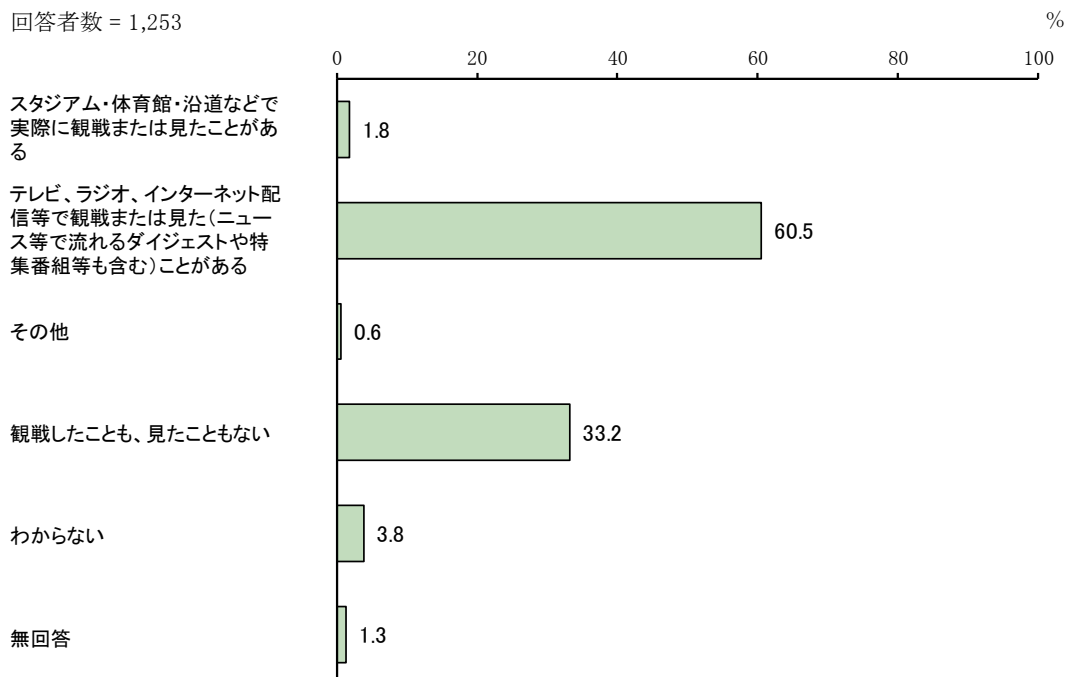
体験・経験したことがある割合が5.7%と少なくなっています。



⑥ 障がい者スポーツやパラリンピック競技種目を観戦または見たことがあるか

テレビ、ラジオ、インターネット配信等も含めた「見た」は62.3%と高くなっており、その中でも「実際に見た」は1.8%とわずかになっています。

障がい者スポーツやパラリンピック競技種目を観戦または見たことがあるか【複数回答】



(2) アスリートを育てる競技スポーツの推進

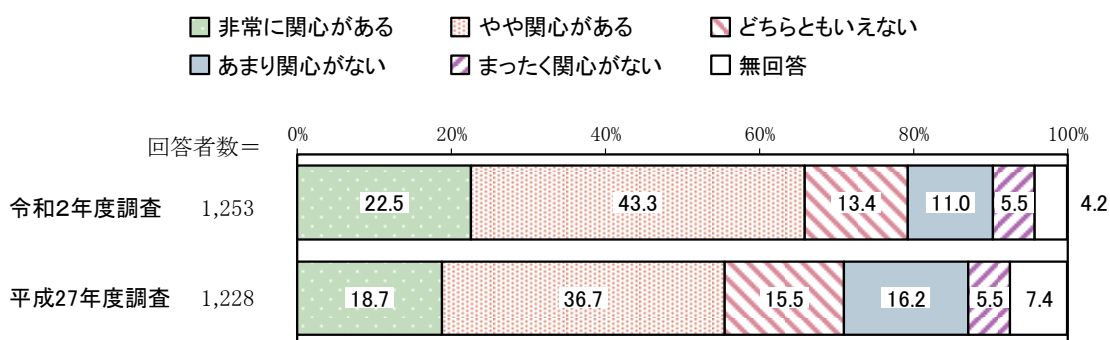
<特徴>

- ・全国大会や国際大会に出場する選手や団体への関心は増加している。
- ・袋井市のスポーツレベルの向上の必要性は、「もっと向上させる必要がある」が前回調査と比べ若干高く、約半数を占めている。その手法は、「施設の充実や環境の整備を図る」に次いで「指導者の資質向上を図る」、「選手への支援・協力」となっている。

① 本市から全国大会や国際大会に出場する選手や団体に関心がある方の割合

本市から全国大会や国際大会に出場する選手や団体に関心がある方の割合は、65.8%となっており、前回調査（平成27年実施）の55.4%と比較し、10.4%増加しています。全国大会等で活躍することを期待している市民が多いことがうかがえます。

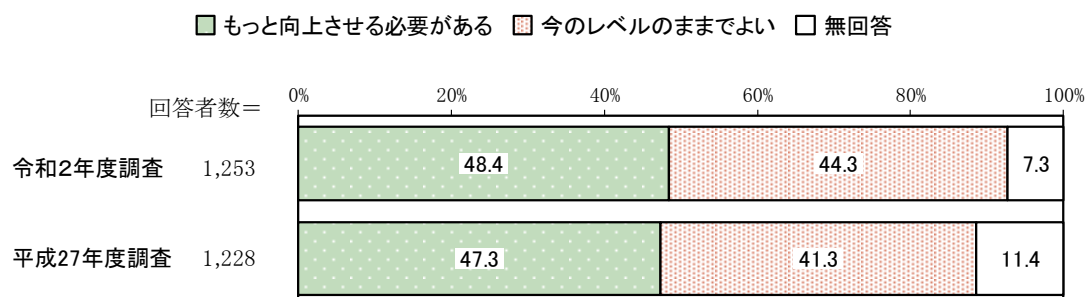
本市から全国大会や国際大会に出場する選手や団体に関心がある方の割合



② 今後、袋井市のスポーツレベル（競技力）をもっと向上させる必要があると思うか

「もっと向上させる必要がある」の割合が、前回調査（47.3%）と比較し若干高く、48.4%と約半数を占めています。

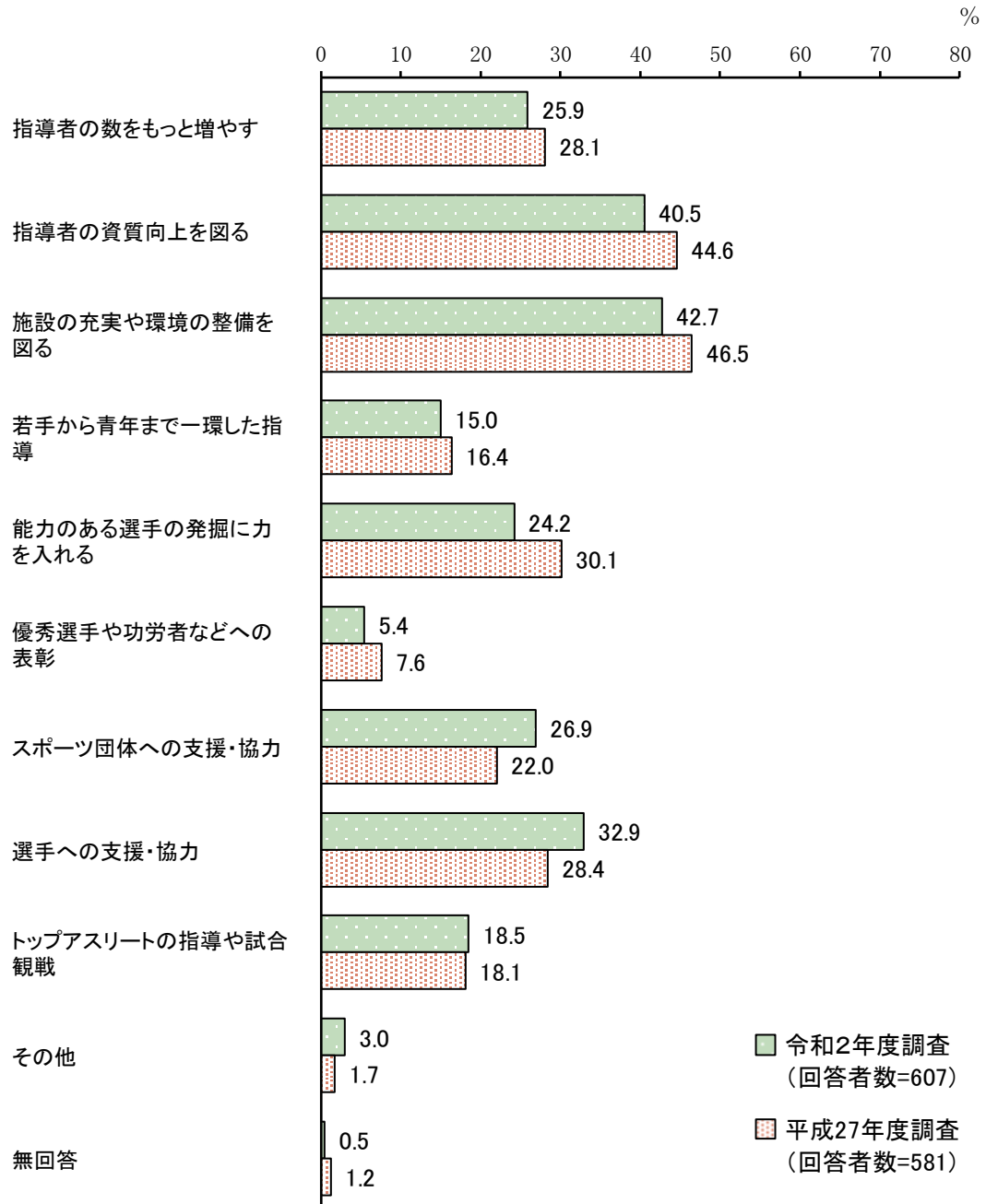
袋井市のスポーツレベル（競技力）をもっと向上させる必要があると思うか



③ 袋井市のスポーツレベル（競技力）をもっと向上させる手法

「施設の充実や環境の整備を図る」の割合が42.7%と最も高く、次いで「指導者の資質向上を図る」の割合が40.5%、「選手への支援・協力」の割合が32.9%となっています。

袋井市のスポーツレベル（競技力）をもっと向上させる手法【複数回答】



(3) スポーツへの興味・関心の高まりとまちの活性化

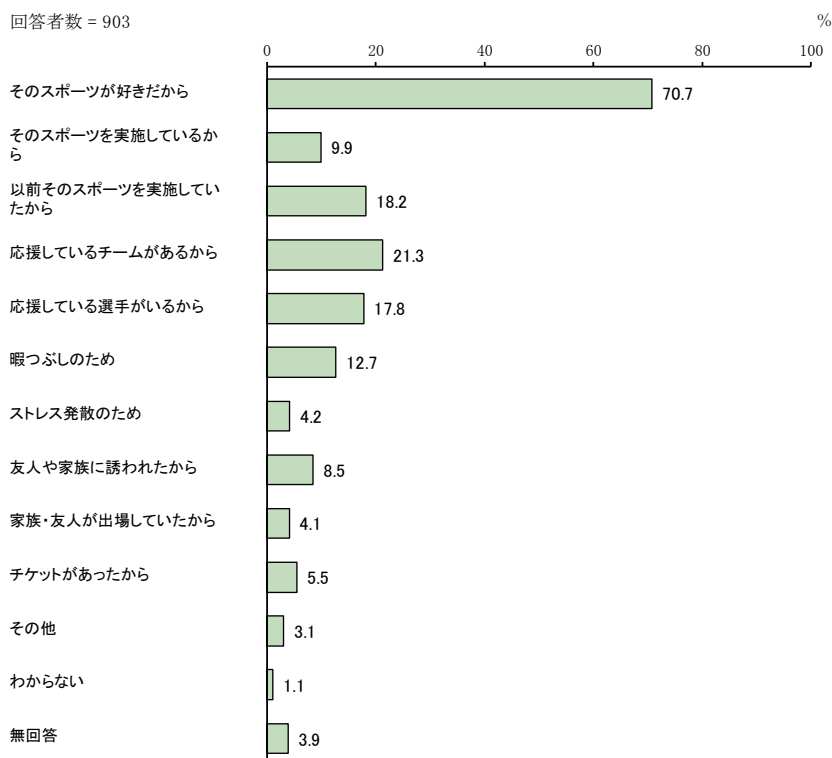
<特徴>

- ・スポーツを観戦した理由について「そのスポーツが好きだから」が最も高く、次いで「応援しているチームがあるから」「以前そのスポーツを実施していたから」「応援している選手がいるから」が高い。また、スポーツを観戦している方のスポーツ実施率が高い傾向にある。
- ・観戦した競技は、「サッカー、フットサル」が最も多く、次いで「野球」「ラグビー」となっている。「サッカー、フットサル」「ラグビー」は、「実際に会場に見に行ったりしている」の割合が他の競技よりも高い。
- ・さわやかアリーナやエコパで開催を期待するイベントは、「プロスポーツの試合や国際大会」が最も高い。
- ・市内で行われたスポーツ行事やスポーツ教室などの参加について、自治会やコミュニティセンターが主催する行事が最も高い。
- ・スポーツに期待する効果・役割は、「プロスポーツ・国際試合の誘致などに伴う地元経済の活性化」「余暇時間の有効利用」が同等で高い。
- ・スポーツ情報の発信方法は、「市発行の広報誌」が最も高く、次いで「インターネット・SNS」となっている。

① スポーツを観戦した理由

「そのスポーツが好きだから」の割合が70.7%と最も高く、次いで「応援しているチームがあるから」「以前そのスポーツを実施していたから」「応援している選手がいるから」が高くなっています。また、スポーツを観戦している方のスポーツ実施率が高い傾向にあります。

スポーツを観戦した理由【複数回答】



② 年齢別のスポーツ観戦競技

70歳以上を除くすべての年代で、「サッカー、フットサル」が最も多く、次いで「野球」「ラグビー」が多い傾向となっています。「サッカー、フットサル」「ラグビー」観戦者は、「実際に会場に見に行ったりしている」の割合が他の競技よりも高くなっています。

年齢別のスポーツ観戦競技【複数回答】

単位：％

区分	有効回答数 (件)	野球	サッカー、フットサル	相撲	テニス	バレーボール	バスケットボール	モータースポーツ	自転車	ラグビー	陸上競技	伝マラソン、駅	水泳	体操、新体操	スキー、スノーボード
20歳代以下	106	43.4	56.6	1.9	13.2	29.2	14.2	2.8	—	24.5	16.0	20.8	9.4	0.9	1.9
30歳代	108	46.3	73.1	9.3	13.0	27.8	16.7	4.6	1.9	28.7	14.8	20.4	12.0	5.6	9.3
40歳代	126	45.2	68.3	11.1	16.7	30.2	10.3	9.5	0.8	34.9	12.7	21.4	9.5	5.6	6.3
50歳代	142	53.5	62.7	21.1	23.2	25.4	10.6	14.8	2.1	36.6	20.4	39.4	13.4	11.3	4.2
60歳代	180	57.8	63.3	41.7	25.6	25.0	5.6	8.9	2.8	27.8	25.0	42.8	17.2	11.7	2.2
70歳以上	227	61.2	45.8	59.9	20.7	32.6	5.3	4.0	2.2	20.3	24.2	53.7	22.9	19.4	5.3

区分	スケート	柔道	剣道	空手	ゴルフ	ボクシング	レスリング	ボウリング	アメリカンフットボール	ソフトボール	卓球	バドミントン	総合格闘技	その他	無回答
20歳代以下	11.3	—	0.9	—	7.5	3.8	—	—	0.9	0.9	2.8	4.7	2.8	2.8	—
30歳代	11.1	6.5	—	—	5.6	12.0	—	0.9	1.9	2.8	12.0	2.8	12.0	2.8	—
40歳代	20.6	3.2	3.2	1.6	9.5	12.7	1.6	3.2	1.6	1.6	10.3	7.9	11.9	2.4	0.8
50歳代	21.1	9.2	1.4	1.4	23.9	7.7	3.5	2.1	0.7	5.6	12.0	4.9	5.6	2.1	0.7
60歳代	18.9	5.0	1.7	1.1	27.8	8.3	1.1	2.8	1.7	2.8	22.2	13.3	4.4	1.7	0.6
70歳以上	26.4	8.4	1.3	3.5	29.5	15.9	3.5	5.3	1.3	7.5	28.6	10.1	4.8	1.8	1.3

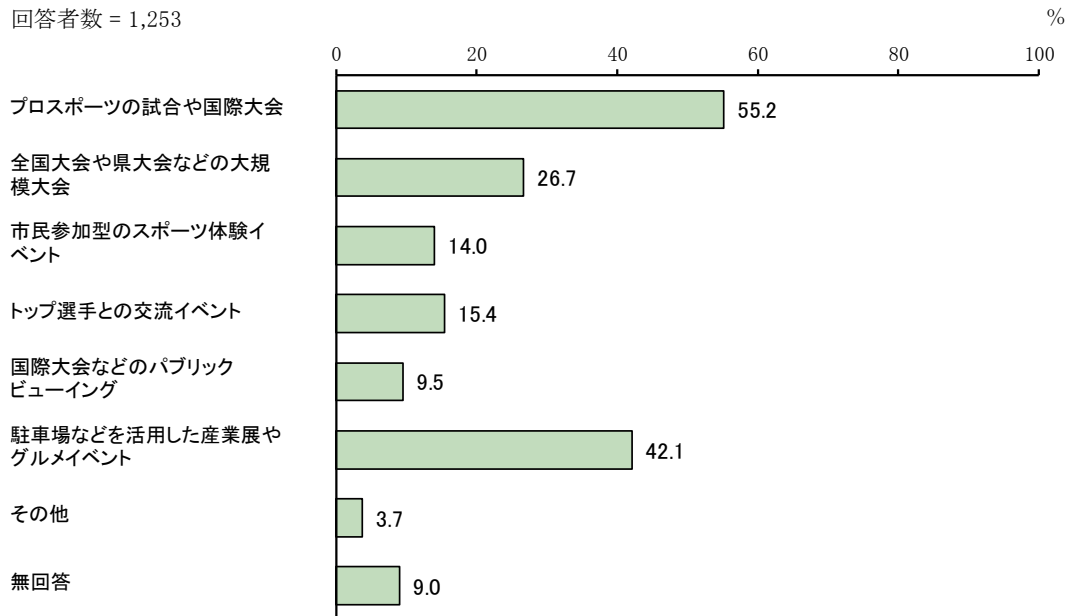
性・年齢別のスポーツ観戦競技（上位3位）

	1位	2位	3位
男性 20歳代以下	野球 64.1%	サッカー、フットサル 59.0%	バレーボール 28.2%
30歳代	サッカー、フットサル 81.8%	野球 52.7%	ラグビー 29.1%
40歳代	サッカー、フットサル 71.0%	野球 53.2%	ラグビー 25.8%
50歳代	サッカー、フットサル 74.7%	野球 69.6%	マラソン、駅伝 38.0%
60歳代	野球 68.0%	サッカー、フットサル 65.0%	相撲 41.7%
70歳以上	野球 76.7%	相撲 67.4%	マラソン、駅伝 58.1%
女性 20歳代以下	サッカー、フットサル 54.5%	野球 31.8%	バレーボール 30.3%
30歳代	サッカー、フットサル 64.2%	野球 39.6%	バレーボール 32.1%
40歳代	サッカー、フットサル 65.6%	ラグビー 43.8%	野球 37.5%
50歳代	サッカー、フットサル 47.6%	マラソン、駅伝 41.3%	スケート 41.3%
60歳代	サッカー、フットサル 61.8%	マラソン、駅伝 44.7%	野球 43.4%
70歳以上	相撲 50.0%	バレーボール 49.0%	マラソン、駅伝 47.9%

- ③ 今後、さわやかアリーナやエコパでどのようなイベントの開催を期待するか
「プロスポーツの試合や国際大会」が55.2%と最も高く、次いで「駐車場などを活用した産業展やグルメイベント」が42.1%となっています。

さわやかアリーナやエコパでどのようなイベントの開催を期待するか【複数回答】

回答者数 = 1,253



④ 市内で行われたスポーツ行事やスポーツ教室などに参加した経験

男女ともにどの年齢も「参加しなかった」の割合が最も高くなっています。また、男女ともに30歳代以下で「行っていることを知らなかった」の割合が高くなっています。

性・年齢別の市内で行われたスポーツ行事やスポーツ教室などに参加した経験

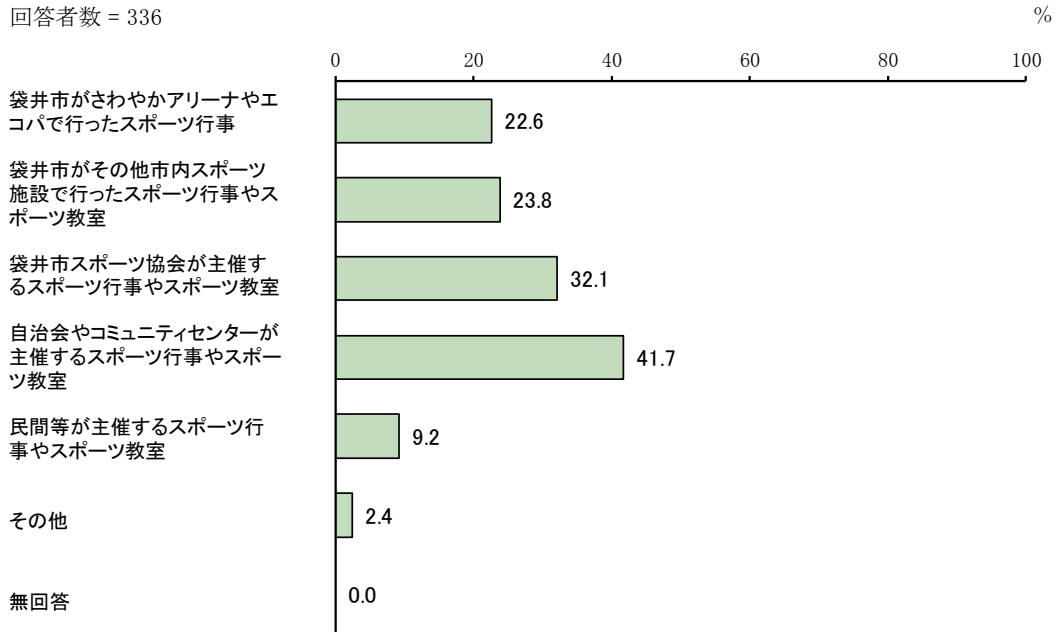
単位：%

区分	有効回答数(件)	参加した	見学だけした	参加しなかった	行っていることを知らなかった	無回答
男性 20歳代以下	60	21.7	5.0	46.7	26.7	—
30歳代	76	14.5	2.6	56.6	25.0	1.3
40歳代	83	36.1	1.2	41.0	19.3	2.4
50歳代	102	25.5	2.0	56.9	15.7	—
60歳代	124	25.0	6.5	53.2	12.1	3.2
70歳以上	147	24.5	10.2	51.0	8.2	6.1
女性 20歳代以下	117	21.4	1.7	41.9	35.0	—
30歳代	100	27.0	—	42.0	31.0	—
40歳代	92	31.5	4.3	46.7	15.2	2.2
50歳代	92	35.9	5.4	46.7	8.7	3.3
60歳代	104	39.4	4.8	40.4	13.5	1.9
70歳以上	124	21.8	7.3	53.2	5.6	12.1

⑤ 市内で行われたスポーツ行事やスポーツ教室などに参加した方がどのようなイベントに参加したか

自治会やコミュニティセンターが主催する行事に参加した方が 41.7%と最も高くなっています。

市内で行われたスポーツ行事やスポーツ教室などに参加した方が
どのようなイベントに参加したか【複数回答】

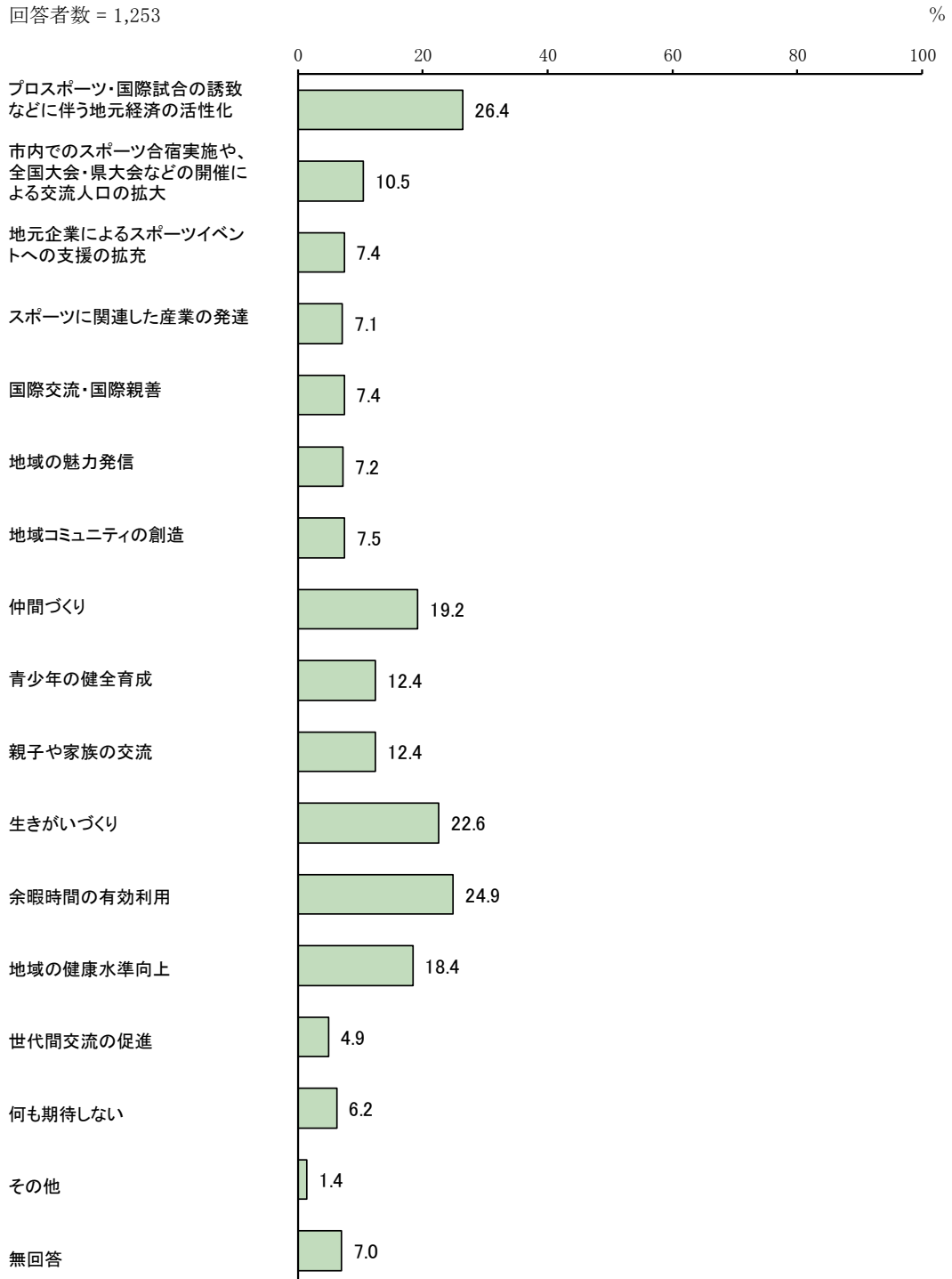


ウオーキングキャラバン

⑥ 今後、スポーツにどのような効果・役割を期待するか

「プロスポーツ・国際試合の誘致などに伴う地元経済の活性化（26.4%）」「余暇時間の有効利用（24.9%）」が高く、このことからまちと自身への効果を同等に求めていると考えられます。

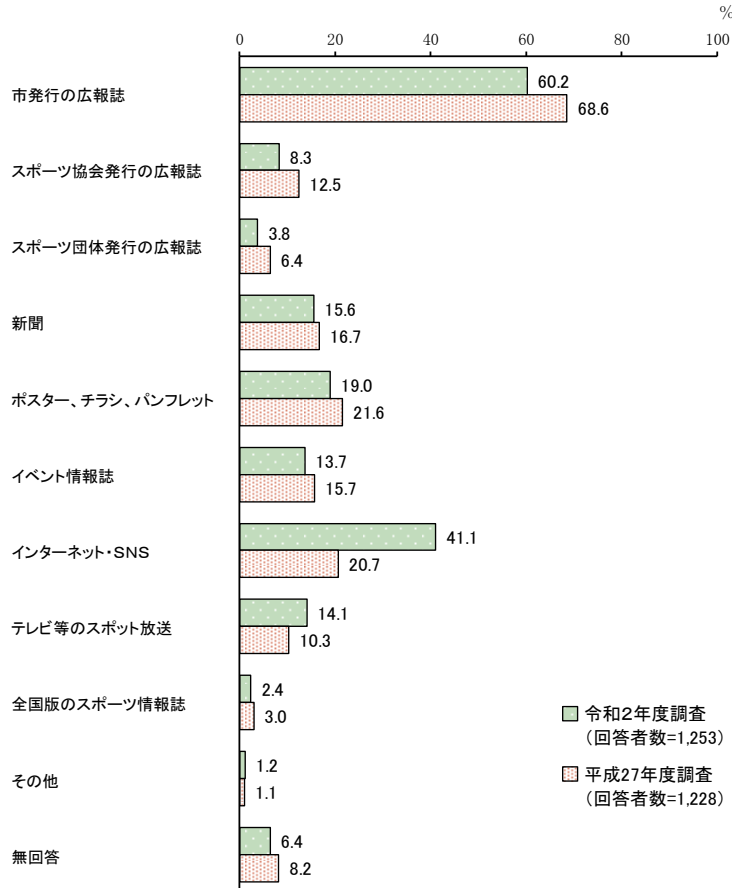
今後、スポーツにどのような効果・役割を期待するか【複数回答】



⑦ 今後、袋井市のスポーツ情報がどのような形で発信されるのが望ましいか

「市発行の広報誌」が60.2%と最も高く、次いで「インターネット・SNS」が41.1%となっています。性・年齢別でみると、男女ともに20歳代以下で「インターネット・SNS」の割合が、60歳代で「市発行の広報誌」の割合が高くなっています。

今後、袋井市のスポーツ情報がどのような形で発信されるのが望ましいか【複数回答】



性・年齢別の今後、袋井市のスポーツ情報がどのような形で発信されるのが望ましいか【複数回答】

単位：%

区分	有効回答数(件)	市発行の広報誌	スポーツ協会発行の広報誌	スポーツ団体発行の広報誌	新聞	ポスター、チラシ、パンフレット	イベント情報誌	SNS	インターネット・SNS	テレビ等のスポット放送	全国版のスポーツ情報誌	その他	無回答
男性 20歳代以下	60	43.3	10.0	1.7	18.3	21.7	8.3	68.3	15.0	8.3	—	—	6.7
30歳代	76	47.4	3.9	7.9	9.2	22.4	13.2	63.2	22.4	5.3	3.9	—	3.9
40歳代	83	50.6	8.4	2.4	14.5	15.7	9.6	56.6	15.7	4.8	—	—	1.2
50歳代	102	52.9	5.9	4.9	18.6	16.7	8.8	64.7	10.8	2.9	—	2.0	2.9
60歳代	124	70.2	12.1	6.5	15.3	18.5	18.5	22.6	11.3	—	—	2.4	8.1
70歳以上	147	63.3	15.6	3.4	27.9	15.0	15.6	11.6	10.2	2.0	—	0.7	14.3
女性 20歳代以下	117	44.4	0.9	4.3	12.0	24.8	17.1	70.1	27.4	2.6	—	—	0.9
30歳代	100	62.0	2.0	—	6.0	18.0	14.0	63.0	13.0	1.0	—	—	2.0
40歳代	92	60.9	3.3	1.1	17.4	21.7	12.0	51.1	19.6	3.3	—	1.1	1.1
50歳代	92	70.7	13.0	6.5	14.1	19.6	20.7	41.3	15.2	4.3	—	1.1	4.3
60歳代	104	81.7	13.5	1.9	17.3	18.3	11.5	19.2	8.7	—	—	1.9	4.8
70歳以上	124	65.3	8.9	4.8	11.3	21.0	9.7	6.5	7.3	—	—	1.6	16.1

(4) スポーツ活動を支える組織の強化と人材育成

<特徴>

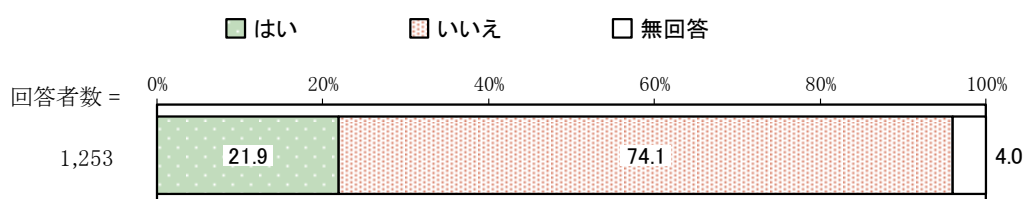
- スポーツの大会やイベントにボランティアとして参加したことがある割合は低い。また、スポーツや運動に対しての関わり合いや貢献についても「したいと思わない」が最も高く（55.7%）、前回調査（平成 27 年実施）の 53.3%から 2.4%増加しています。
- スポーツや運動クラブ等へ加入している人は減少している。
- 新たにスポーツクラブ、同好会、教室に加入する場合の望ましいあり方について、「定期的・継続的にスポーツ活動を体験できる」「子どもから高齢者までの各年齢層が参加できる」「数多くのスポーツ種目が体験できる」が高い。

① スポーツの大会やイベントにボランティアとして参加したことがあるか

「はい」の割合が 21.9%と低調な数値となっています。

性・年齢別でみると、男女ともに 20 歳代以下で「はい」の割合が高くなっています。

スポーツの大会やイベントにボランティアとして参加の有無



性・年齢別のスポーツの大会やイベントにボランティアとして参加の有無

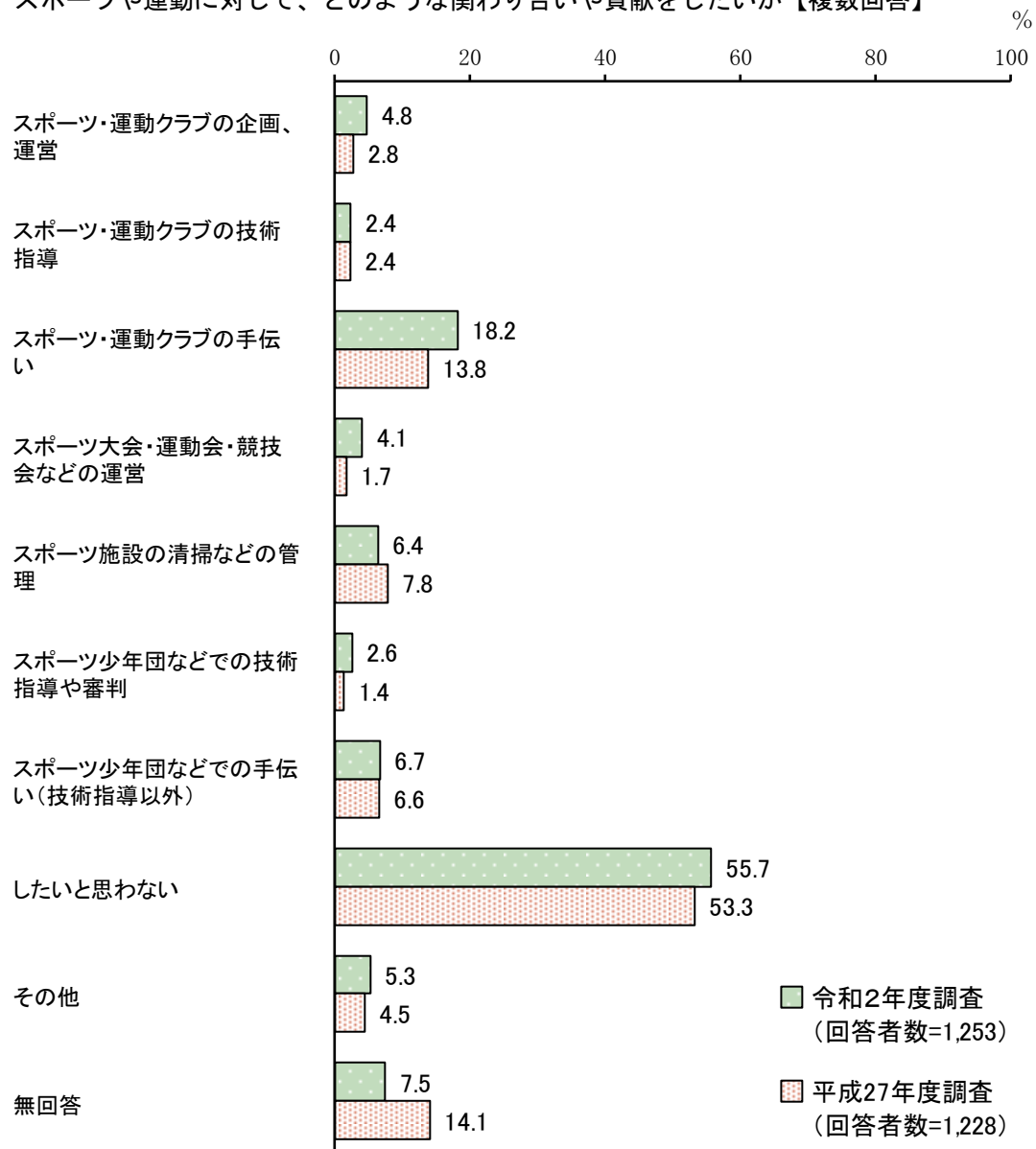
単位：%

区分	有効回答数 (件)	はい	いいえ	無回答
男性 20 歳代以下	60	38.3	58.3	3.3
30 歳代	76	17.1	78.9	3.9
40 歳代	83	25.3	72.3	2.4
50 歳代	102	26.5	71.6	2.0
60 歳代	124	29.0	67.7	3.2
70 歳以上	147	25.9	66.0	8.2
女性 20 歳代以下	117	30.8	68.4	0.9
30 歳代	100	24.0	75.0	1.0
40 歳代	92	15.2	83.7	1.1
50 歳代	92	15.2	82.6	2.2
60 歳代	104	12.5	82.7	4.8
70 歳以上	124	8.9	82.3	8.9

② スポーツや運動に対して、どのような関わり合いや貢献をしたいかについて「したいと思わない」の割合が55.7%と最も高くなっています。

性・年齢別でみると、男女ともにどの年齢も「したいと思わない」の割合が最も高くなっています。

スポーツや運動に対して、どのような関わり合いや貢献をしたいか【複数回答】



性・年齢別のスポーツや運動に対して、どのような関わり合いや貢献をしたいか【複数回答】

単位：％

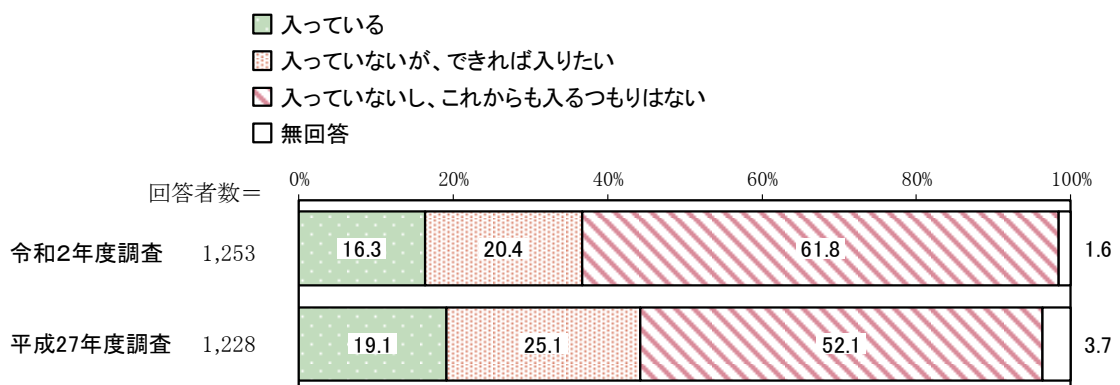
区分	有効回答数(件)	企画、運営	スポーツ・運動クラブの技術指導	スポーツ・運動クラブの手伝い	スポーツ大会・運動会・競技会などの運営	スポーツ施設の清掃などの管理	スポーツ少年団などの技術指導や審判	スポーツ少年団などでの手伝い(技術指導以外)	したいと思わない	その他	無回答
男性 20歳代以下	60	18.3	6.7	28.3	8.3	10.0	10.0	8.3	43.3	1.7	3.3
30歳代	76	9.2	5.3	17.1	3.9	5.3	2.6	6.6	64.5	—	6.6
40歳代	83	7.2	6.0	10.8	7.2	6.0	8.4	13.3	54.2	2.4	2.4
50歳代	102	2.9	2.9	16.7	3.9	2.9	3.9	7.8	65.7	2.0	1.0
60歳代	124	4.8	2.4	22.6	4.8	6.5	1.6	6.5	54.0	3.2	8.1
70歳以上	147	2.7	2.0	21.8	4.1	6.8	2.7	4.8	46.9	8.8	12.2
女性 20歳代以下	117	9.4	2.6	26.5	8.5	4.3	2.6	11.1	53.8	2.6	—
30歳代	100	2.0	2.0	14.0	3.0	6.0	1.0	13.0	61.0	3.0	4.0
40歳代	92	4.3	1.1	30.4	5.4	5.4	2.2	8.7	55.4	2.2	2.2
50歳代	92	4.3	1.1	16.3	2.2	4.3	—	3.3	60.9	9.8	6.5
60歳代	104	1.0	—	14.4	1.0	14.4	—	1.9	55.8	9.6	9.6
70歳以上	124	—	—	1.6	—	6.5	0.8	0.8	54.0	13.7	24.2

③ スポーツや運動クラブ等へ加入している人の割合

加入している人の割合は、16.3%となっており、前回調査（平成 27 年実施）の 19.1%から 2.8%減少しています。ウォーキングやランニングなど、いつでも手軽にできる個人スポーツが好まれる傾向にあるため、スポーツや運動クラブ等への加入が進んでいない状況が考えられます。

性・年齢別でみると、男女ともにどの年齢も「入っていないし、これからも入るつもりはない」の割合が最も高くなっています。

スポーツや運動クラブ等への加入している人の割合



性・年齢別のスポーツや運動クラブ等への加入している人の割合

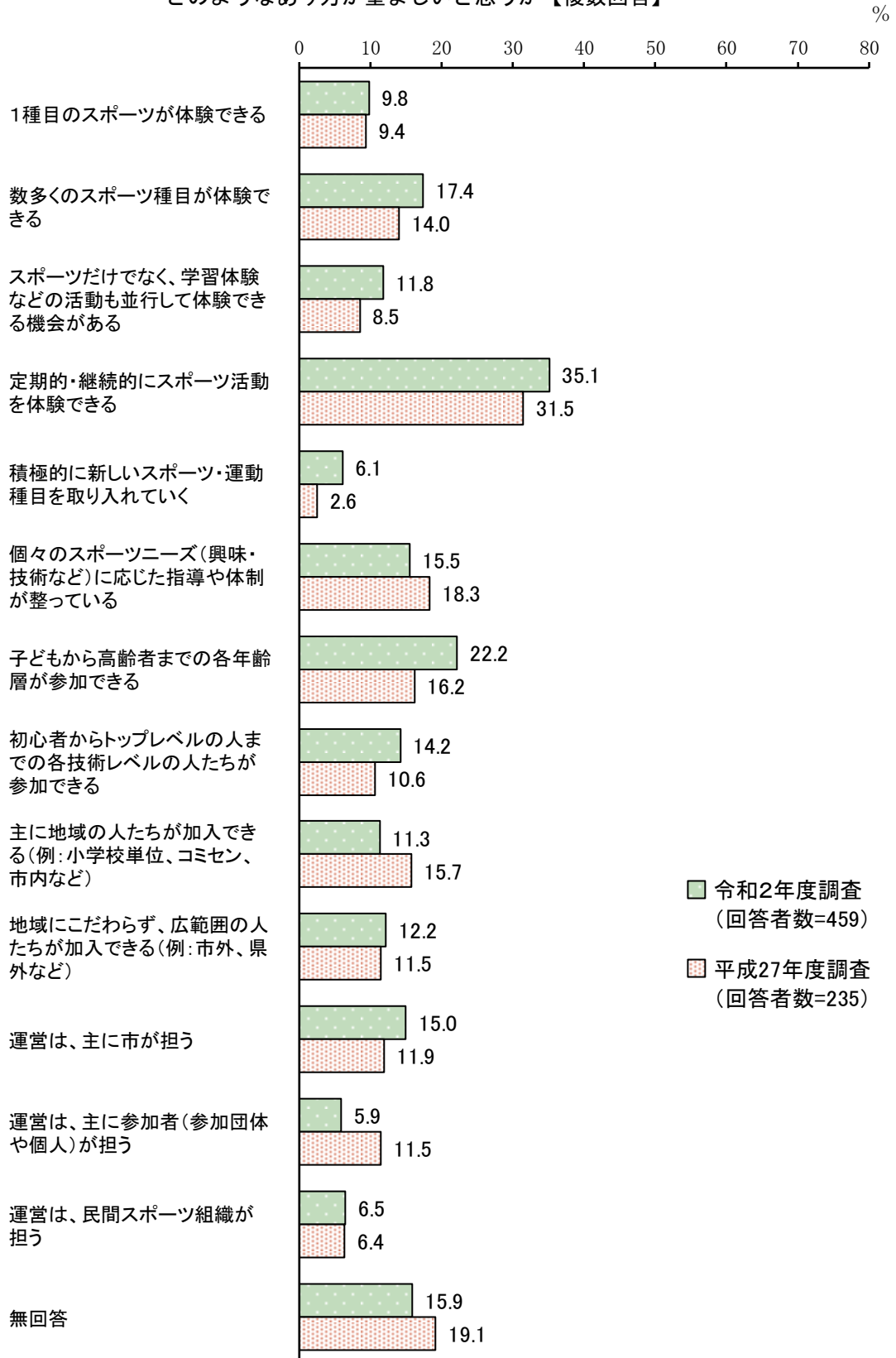
単位：％

区分	有効回答数 (件)	入っている	入っていないが、 できれば入りたい	入っていないし、 これからも入るつ もりはない	無回答
男性 20歳代以下	60	11.7	25.0	61.7	1.7
30歳代	76	14.5	19.7	65.8	—
40歳代	83	13.3	12.0	72.3	2.4
50歳代	102	10.8	18.6	70.6	—
60歳代	124	13.7	24.2	60.5	1.6
70歳以上	147	23.1	11.6	62.6	2.7
女性 20歳代以下	117	8.5	18.8	71.8	0.9
30歳代	100	10.0	23.0	66.0	1.0
40歳代	92	7.6	37.0	55.4	—
50歳代	92	17.4	26.1	55.4	1.1
60歳代	104	26.9	24.0	48.1	1.0
70歳以上	124	28.2	12.1	54.0	5.6

④ 今後、新たにスポーツクラブ、同好会、教室に加入するとした場合、どのようなあり方が望ましいと思うか

「定期的・継続的にスポーツ活動を体験できる」の割合が35.1%、「子どもから高齢者までの各年齢層が参加できる」の割合が22.2%、「数多くのスポーツ種目が体験できる」の割合が17.4%、「個々のスポーツニーズ（興味・技術など）に応じた指導や体制が整っている」の割合が15.5%となっていることから、ライフステージのスポーツニーズに応じて定期的・継続的に参加でき、多様なスポーツニーズに対応できるスポーツクラブ等が求められていることがうかがえます。

今後、新たにスポーツクラブ、同好会、教室に加入するとした場合、
どのようなあり方が望ましいと思うか【複数回答】



(5) 誰もが気軽に取り組めるスポーツ環境の整備

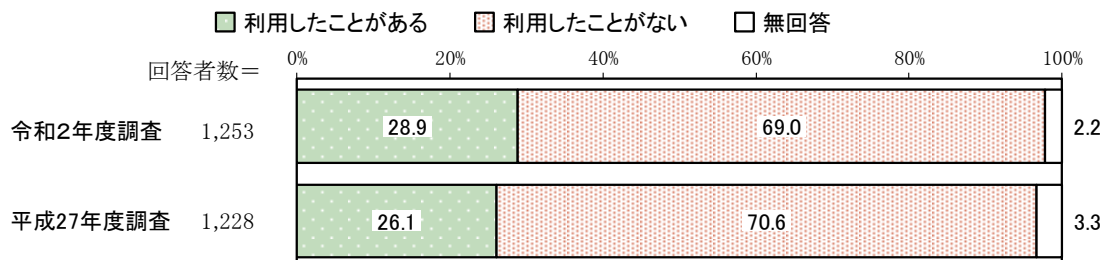
<特徴>

- この1年間で袋井市にある公共スポーツ施設を「利用したことがない」がおおよそ7割となっている。
- 公共スポーツ施設利用について利用経験がある方の満足度は、「十分満足」「まあまあ満足」が高く、「やや不満」「不満」は低い。また、利用しなかった理由については、「利用する機会・必要がなかった」が最も高くなっている一方、袋井市の公共スポーツ施設の充実について、「数も質も充実している」の割合が最も高い。

① この1年間で、袋井市にある公共スポーツ施設（さわやかアリーナ、市民体育館、体育センター、エコパ、B & G海洋センターなど）を利用したことがあるか「利用したことがない」の割合が、69.0%と高くなっています。前回調査(70.6%)からほぼ横ばいで推移しています。

性・年齢別でみると、男女ともに年齢が高くなるにつれ「利用したことがない」の割合が高くなる傾向がみられます。

この1年間で、袋井市にある公共スポーツ施設（さわやかアリーナ、市民体育館、体育センター、エコパ、B & G海洋センターなど）を利用したことがあるか



性・年齢別のこの1年間で、袋井市にある公共スポーツ施設（さわやかアリーナ、市民体育館、体育センター、エコパ、B & G海洋センターなど）を利用したことがあるか

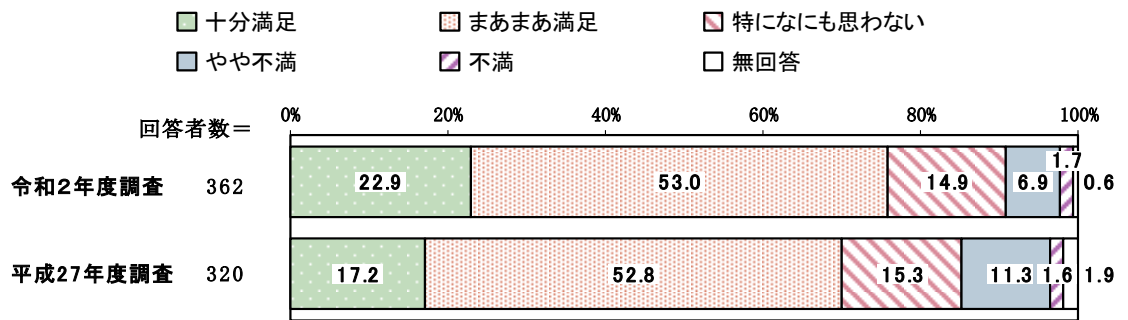
単位：%

区分	有効回答数(件)	利用したことがある (%)	利用したことがない (%)	無回答 (%)
男性 20歳代以下	60	36.7	61.7	1.7
30歳代	76	39.5	60.5	—
40歳代	83	31.3	67.5	1.2
50歳代	102	25.5	74.5	—
60歳代	124	24.2	75.0	0.8
70歳以上	147	17.0	78.9	4.1
女性 20歳代以下	117	35.9	63.2	0.9
30歳代	100	45.0	54.0	1.0
40歳代	92	35.9	63.0	1.1
50歳代	92	31.5	68.5	—
60歳代	104	26.9	72.1	1.0
70歳以上	124	13.7	77.4	8.9

② 公共スポーツ施設の満足度

施設利用経験がある方のうち、施設に満足している人の割合は、「十分満足」「まあまあ満足」が75.9%と高く、「やや不満」「不満」が8.6%と低くなっています。

公共スポーツ施設の満足度について

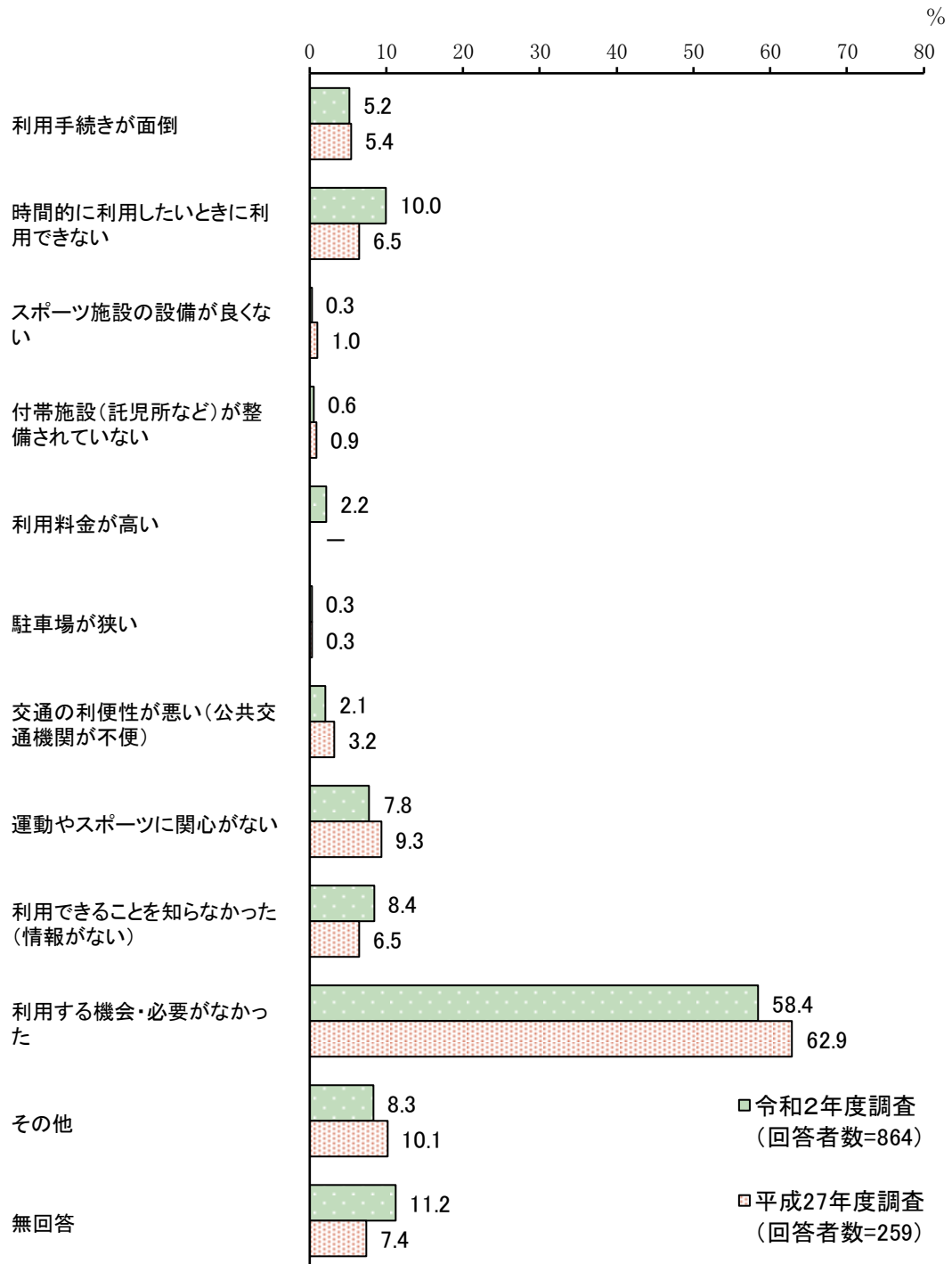


浅羽球技場

③ 公共スポーツ施設を利用しなかった理由

「利用する機会・必要がなかった」が58.4%と最も高くなっています。

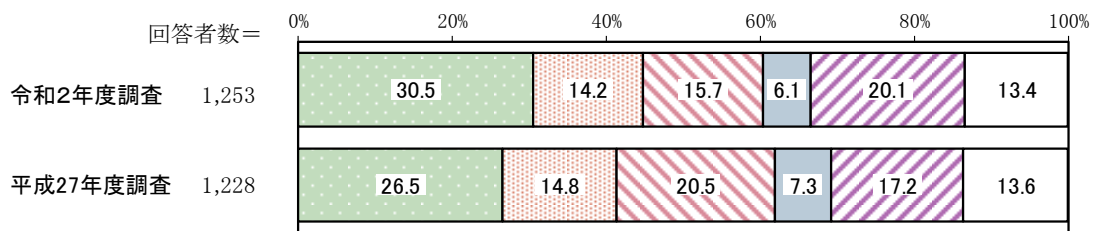
公共スポーツ施設を利用しなかった理由【複数回答】



- ④ 袋井市の公共スポーツ施設（学校体育施設は除く）は充実していると思うか
「数も質も充実している」の割合が30.5%と最も高くなっています。

袋井市の公共スポーツ施設（学校体育施設は除く）は充実していると思うか

- 数も質も充実している
- 施設の数がない
- 施設の数はあるが、質が充実していない(規模が小さい、古い、設備が不十分)
- 数も質も充実していない
- その他
- 無回答



袋井 B&G 海洋センター

3 前期計画の検証・評価と現状

本市では、第3次袋井市スポーツ推進計画に基づき、「するスポーツ」、「観るスポーツ」、「支える（育てる）スポーツ」を施策の3本柱として、（1）生涯スポーツの推進、（2）アスリートを育てる競技スポーツの推進、（3）スポーツへの興味・関心の高まりとまちの活性化、（4）スポーツ活動を支える組織の強化と人材育成、（5）誰もが気軽に取り組めるスポーツ環境の整備、を目標に各種施策を展開してきました。

各目標に対する検証・評価結果と現状は以下のとおりです。

- ◎・・・目標値に達成した
- ・・・目標値に達成していないが、前期計画開始時と比較して向上
- △・・・前期計画開始時と同等または若干低下
- ×・・・前期計画開始時と比較し低下

① 生涯スポーツの推進

評価指標	基準値 (平成26年)	現状値 (令和元年)	目標値 (令和2年)	評価
成人のスポーツ実施率 (週1回以上)	41.9%	57.8% (令和2年)	55.0%	◎
新体カテストで全国の平均を上回る種目の割合 (小5・中2)	78.1%	37.5%	90.0%	×

※平成26年は20歳以上、令和元年からは18歳以上を成人としています。

【現状】

- ・親子スポーツ教室は、平成31（令和元）年度で25組参加しており、年間10回程度取り組んでいる。参加者は、リピーターが多い。
- ・平成29年度に健康ポイントシステム「#2961（ふくろい）ウオーク」のポイントの付与により、健康づくりに取り組むきっかけとなるよう推進している。年代別参加者数では、目的である働く世代（30～50歳代）の参加が多くなっているが、継続的に利用している方の割合が全体の30%程度にとどまっている。
- ・スポーツ実施率が向上している一方で、クラウンメロンマラソンの参加者は平成31（令和元）年度は約7,000人で、平成28年度から1,000人程度減少、袋井市駅伝大会、東海道五十三次どまん中ふくろいウオークなども参加者は減少しており、イベントへの参加よりも個人的な活動が増加傾向にある。
- ・スポーツイベントへのエアロビック講師の派遣を行ってきたが、講師の派遣を希望する団体や施設が少なくなっている。
- ・新体カテストで全国の平均を上回る種目の割合が32項目中12項目（37.5%）と少なく、市内の小中学生の運動能力の低下が顕著である。

② アスリートを育てる競技スポーツの推進

評価指標	基準値 (平成 26 年)	現状値 (令和元年)	目標値 (令和 2 年)	評価
全国スポーツ大会の出場者数	61 件	59 件	90 件	△
スポーツ指導者育成事業助成金交付件数	18 件	9 件	25 件	×

【現状】

- 全国大会に出場する選手・団体に対し助成金を交付しており、平成 31（令和元）年度は 59 件 435,000 円を交付した。
- 全国スポーツ大会への出場者数は、平成 24 年度の 85 件をピークに平成 31（令和元）年度は 59 件と減少している。
- 新規にスポーツ指導者の資格を取得した者に交付する助成金は、平成 31（令和元）年で 9 件と基準値と比較すると低調である。新規資格取得者に対して周知が難しく、助成金制度の認知度が低い。



アスリートの市長表敬訪問

③ スポーツへの興味・関心の高まりとまちの活性化

評価指標	基準値 (平成 26 年)	現状値 (令和元年)	目標値 (令和 2 年)	評価
エコパでトップアスリー による大会が行われた場 合の観戦やテレビ・ラジ オで視聴する割合	50.3%	※	60.0%	—

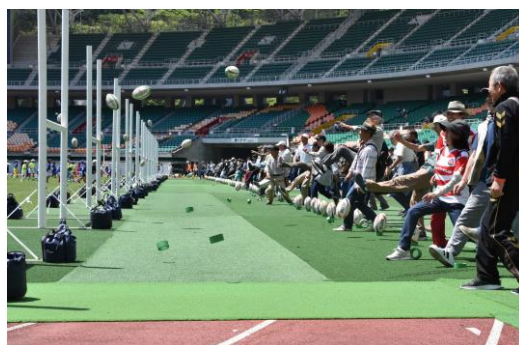
※同様の質問項目がなく比較不可

【参考】第 4 次袋井市スポーツ推進計画策定等に係る市民意識調査より

「あなたはこの 1 年で、さわやかアリーナ、または、エコパで競技スポーツを観戦したことが何回ありますか」で 1 回以上は 27.1%、「あなたは、スポーツを観戦したり、インターネットやテレビで見たり、ラジオで聴いたりすることがありますか。」は 72.1%

【現状】

- 東京 2020 オリンピックに伴うアイルランドオリンピックチームの事前キャンプの受入が決定した。プレキャンプの受入時には、選手の練習環境をサポートするとともに、選手と小中学生の交流機会の創出に努めている。
- ラグビーワールドカップ 2019TM関連事業として、2,000 人規模の市民参加型のイベントを複数回開催し、機運醸成を図った。大会も大盛況のうちに閉会したが、一過性とならないようラグビー啓発事業を継続して実施している。
- 市内のスポーツイベントや教室等の情報を市や市スポーツ協会の広報誌、ホームページなどで情報発信している。しかしながら、特にホームページについて情報量が十分とは言えない状況であり、ホームページの内容の充実と併せて SNS の有効活用等の検討が必要である。



RWC2019TM 機運醸成事業
(2019 年ラグビー“キック”チャレンジ)

④ スポーツ活動を支える組織の強化と人材育成

評価指標	基準値 (平成 26 年)	現状値 (令和元年)	目標値 (令和 2 年)	評価
スポーツボランティア登録数	66 人	27 人	90 人	×

【現状】

- ・指定管理者との連携により開催しているニュースポーツフェスティバルは、気軽にニュースポーツに親しむことができる機会であるが、利用施設が手狭なため、開催できるスポーツが限られ、イベントの内容に変化がないのが現状である。
- ・スポーツ推進委員については、資質向上を目的に、積極的にニュースポーツやラジオ体操の講習を受け、地域への出前指導やデカスポテニスの大会運営補助などができるよう技術取得のほか地域への普及活動へ取り組んでいる。
- ・スポーツボランティアについては、市スポーツ協会ボランティア委員会との連携により、クラウンメロンマラソン等で活動しているが、メンバーの高齢化が進んでおり、メンバーの確保も困難となっている。

⑤ 誰もが気軽に取り組めるスポーツ環境の整備

評価指標	基準値 (平成 26 年)	現状値 (令和元年)	目標値 (令和 2 年)	評価
市内運動施設の利用者数	662,972 人	551,962 人	720,000 人	△

【現状】

- ・市民体育館の老朽化に伴い、これに代わる施設として総合体育館をPFI手法により整備した。
- ・コミュニティ広場や、多目的運動広場など、市民が身近にスポーツを行える環境の提供を行ってきたが、施設・設備の老朽化が進んでおり、維持管理の経費が増加している。
- ・指定管理施設についても、老朽化が進んでいる。また、施設によって採算が取れている施設と取れていない施設がある。

4 課題のまとめ

(1) 生涯スポーツの推進

◆#2961 ウォークの更なる普及・利便性向上

市では健康ポイントシステム「#2961（ふくろい）ウォーク」を開発し、ポイントの付与により、健康づくりに取り組むきっかけとなるよう推進しています。目的である働く世代（30～50歳代）の参加が多くなっているものの、全体の継続利用者の割合が低調であるため、ポイントの交換メニューの充実や、アプリの使い易さ、気軽さ等を向上させる方策を検討していく必要があります。

◆働く世代・子育て世代の運動・スポーツ習慣の定着化とイベントの在り方の見直し

市民アンケートからみると、ウォーキングや体操など気軽にできる生涯スポーツの啓発により、シニア世代でのスポーツ実施率は高くなっていますが、依然として子育てや仕事などで忙しい30～40歳代のスポーツ実施率が低くなっています。各世代のニーズを的確に把握し、気軽に参加できる教室や講座などのスポーツ機会の充実を図る必要があると同時に、気軽に好きなスポーツにふれることがスポーツを実施するきっかけとなる傾向もみられることから、「するスポーツ」に関連するイベントはもとより、「観るスポーツ」に関連する施策の展開により、運動・スポーツ習慣の定着化に繋げていく必要があります。

◆少人数から大人数までのイベントなどの在り方の見直し

スポーツ実施率が向上し、その中でも個人でウォーキングやランニングをする方が増加している一方で、クラウンメロンマラソンや袋井市駅伝大会、どまん中ふくろいウォークの参加者は減少傾向にあります。ウォーキングやランニング愛好者のニーズに応じたイベントの実施方法や在り方を検討する必要があります。

また、スポーツクラブの加入率が低下する一方で、定期的・継続的にスポーツ活動が体験できるクラブや様々な年齢層が参加できるクラブに対するニーズに対して、地域スポーツクラブの新たな在り方を検討するとともに、総合型地域スポーツクラブの活動機会の拡大が必要と考えられます。

◆子どもの運動能力向上に向けた土台形成

新体カテストにおける全国の平均を上回る種目の割合が 37.5%と低調であることから、体育の授業や地域などでの小中学生のスポーツ環境の充実を図ることはもとより、幼児期から楽しく運動あそびに触れ、スポーツ習慣の土台形成に繋がる方策を検討する必要があります。

◆障がい者スポーツを支える体制の強化と触れる機会の充実

障がい者スポーツについては、関心が高まりつつあるものの、実際の競技体験や会場で観戦する機会が非常に少ない状況であるため、東京 2020 オリンピック・パラリンピックを契機に、各競技の普及啓発や、障がいの有無などに関わらず、誰もがパラスポーツを体験できる機会の充実に努めることが求められます。また、競技者への支援体制を強化する必要もあります。

(2) アスリートを育てる競技スポーツの推進

◆トップアスリートを育成・支援する環境の充実

市民アンケートからみると、本市から全国大会や国際大会に出場する選手や団体に関心がある人の割合が前回調査よりも 10.4%も増加をしており、市民の競技スポーツへの関心の裾野が広がってきていますが、一方で、全国スポーツ大会の出場者数は、平成 24 年度の 85 件をピークに平成 27 年度から平成 31（令和元）年度までは 60 件前後と横ばいの状況となっていることから、市をあげて各種大会で活躍できるトップアスリートを育成・支援する環境の充実を図っていく必要があります。

◆ジュニア期からの優秀な指導者の確保と指導環境の充実

ジュニア期からトップアスリートや優秀な指導者の指導を受けられる機会の充実を図るとともに、競技間や世代間などでの情報交換の場を充実させることが重要であり、指導者の助成制度の見直しや講習会の充実などにより、更なる指導者育成体制の整備が求められています。同時に、既存のスポーツ施設の機能向上など、ハード面も含め、アスリート本人を支える環境を今以上に充実させていくことも課題と言えます。

(3) スポーツへの興味・関心の高まりとまちの活性化

◆スポーツを地域活性化に繋げる取り組みの充実

市民アンケートの結果から、実際にエコパスタジアムでサッカーやラグビーを観戦している人が多いと同時に、今後、総合体育館「さわやかアリーナ」やエコパでのプロスポーツの試合や国際大会の開催、それに伴う地域経済の活性化を期待する声が多く、今以上に身近でトップレベルの競技を観戦する機会を充実させるとともに、地元企業や市内各種団体との連携した取り組みが求められています。

こうした大会の誘致・開催支援やアイルランドオリンピックチームとの交流を市民のスポーツへの関心を高めるきっかけとするとともに、地域経済の活性化やまちの国際化に繋がる施策を展開していく必要があります。

◆ニーズに応じたスポーツ情報の発信

市のスポーツ情報については、市発行の広報誌を中心にインターネットや SNS などにより発信しています。年代により希望する情報の受取方法の傾向が異なるため、より幅広い世代に情報が届くよう有効的な情報発信方法を検討していく必要があります。

(4) スポーツ活動を支える組織の強化と人材育成

◆スポーツボランティアなどのスポーツを「支える」人材の確保

市民アンケートからみると、スポーツボランティア経験者が全体の約 20%と低調であるとともに、ボランティアなどのスポーツを支える活動への関心が非常に低くなっています。スポーツ活動やイベントを支える人材の必要性や、それらのやりがいを効果的に発信し、「する」「観る」だけでなく、「支える」立場からイベントなどに参画する人材確保・育成を図る必要があります。

◆地域におけるスポーツ活動環境の充実

スポーツや運動のクラブなどへの加入者は減少しています。また、加入する場合の在り方については、ライフステージのスポーツニーズに応じて定期的・継続的に参加できるクラブなどが求められていることから、学校やスポーツクラブ、市スポーツ協会をはじめとするスポーツ関係団体の活動を支援するとともに、地域でアスリートを支える環境を充実する必要があります。

◆指定管理者などによる事業の充実

ニュースポーツフェスティバルをはじめとする指定管理者などとの連携による事業や指定管理者による自主事業については、市内スポーツ施設を身近に感じ、スポーツに触れることのできる貴重な機会であります。そのため、実施内容の充実や新たな事業の開催などを検討し、市民に身近なスポーツ環境を提供するとともに、各スポーツ施設の魅力を発信していくことが重要です。

(5) 誰もが気軽に取り組めるスポーツ環境の整備

◆スポーツ無関心層への施設利活用のアプローチ

公共スポーツ施設を利用しなかった方が全体の約7割と前回調査とほぼ横ばいであることや、利用しない理由については、「利用する機会・必要がなかった」と回答した方が最も多いため、市民のスポーツニーズ等を踏まえながら、更なる利用機会の拡大を図るとともに、無関心層の方に対して興味を持つきっかけを提供する必要があります。

◆老朽化が進む施設などの適切な管理運営

市内スポーツ施設の老朽化が進んでいる中、市民が身近にスポーツを実施できる場を確保していくため、指定管理者制度を有効活用するとともに、スポーツ施設3Rプロジェクト（個別施設計画）に基づく、市内公共施設の適切な整備を実施していくことが必要です。併せて、指定管理施設における採算についても、長期的な視点で不採算施設への対策を検討するとともに、民間のノウハウを活用した方策などの検討も必要です。

さらに、コミュニティ広場や多目的運動広場などについても設備の老朽化が進んでおり、維持管理にかかる負担が増加していることから、使用料の徴収も踏まえた今後の維持管理方法の見直しも検討していく必要があります。

1 基本方針

だれもが、いつでも、どこでも、いつまでも
親しみ、楽しむことのできるスポーツ文化の推進

近年、高度情報化による生活の変化や高齢化が進展する中、運動・スポーツへの市民の関心が高まりを見せており、健康保持・増進を目的にスポーツに取り組む市民が増えています。一方で、地域やスポーツ関係団体におけるコミュニティの希薄化やスポーツイベントへの参加者の減少など、スポーツを取り巻く環境は日々変化しています。

また、令和2年当初には新型コロナウイルス感染症の拡大が本格化し、学校の休校や職場のテレワーク導入、各種大会の中止など、生活は一変し、スポーツ活動においても「新しい生活様式」として中長期にわたり感染症対策と向き合う中で、身体的及び精神的な健康を維持するため、体を動かすことやスポーツを行うことはますます重要となっています。

こうした中、本市では、日常的なスポーツ推進に加えて、平成30年にエコパアリーナで全国高等学校総合体育大会弓道競技を開催したほか、翌年には、エコパスタジアムがラグビーワールドカップ2019TM静岡県開催の会場となるなど、大規模なスポーツイベントを通じて地域に活気が生まれ、スポーツに期待される役割がさらに大きくなっています。

今後は、市民のあらゆるスポーツ活動の推進に向けて、スポーツを日常に欠かすことのできない「文化」と捉え、ライフステージや性別、障がいの有無などの多様性に応じて、誰もが、いつまでも、運動・スポーツ活動に親しむことができる環境の充実と更なるまちの活性化に向け、市とスポーツ関係団体、市民が連携して取り組んでいくことが重要であると考えます。

これらを踏まえ、本市のまちの将来像である、「活力と創造で未来を先取る日本一健康文化都市」の実現に向け、基本方針については、第3次袋井市スポーツ推進計画を踏襲し「だれもが、いつでも、どこでも、いつまでも親しみ、楽しむことができるスポーツ文化の推進」を掲げます。

2 基本目標

本市では、これまで「スポーツ」について、自ら身体を動かす「する」スポーツや観戦する「観る」スポーツ、スポーツボランティアやスポーツ関係団体などによる「支える（育てる）」スポーツとして、市民の生活に浸透させる取り組みを推進してきました。このような取り組みは、全ての市民が様々なかたちで運動・スポーツに親しむことにより、世代や競技レベル、競技種目、価値観を超えたスポーツ交流・イベントを通じて、多様な人々・団体との絆を深めるとともに、スポーツを通じて、教育、福祉、健康、産業、国際交流、まちづくり、環境分野などへの波及的な効果も期待され、地域づくりに大きく貢献していくと考えられます。

本計画においては、基本方針を実現していくための基本的な視点として、引き続き「する」スポーツ、「観る」スポーツ、「支える（育てる）」スポーツを大切にするとともに、それらの視点で取り組むスポーツ活動を、スポーツ以外の様々な分野にわたる「地域の活性化」に繋がるよう推進していきます。

そこで、本計画では、基本方針を実現していくための基本目標として、以下の5つの基本目標を設定し、市民のスポーツ活動を推進します。

基本理念を実現する5つの基本目標

- 基本目標 1 多様性に応じたスポーツ活動の推進
- 基本目標 2 誰もが気軽に取り組めるスポーツ環境の提供
- 基本目標 3 スポーツ活動を支える環境の充実
- 基本目標 4 アスリートの育成とトップスポーツに触れる機会の創出
- 基本目標 5 スポーツを通じた地域の活性化



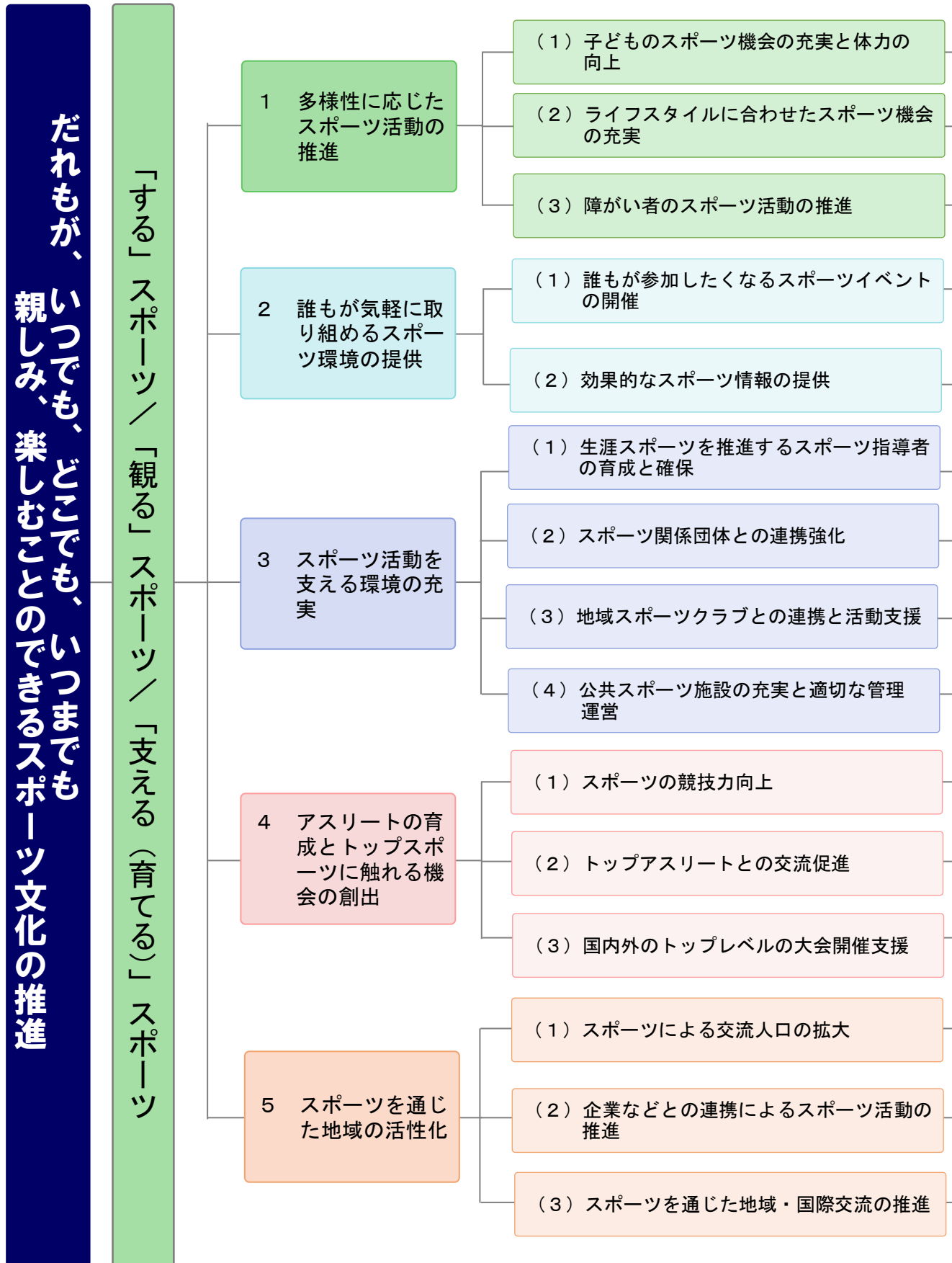
しずおか市町対抗駅伝

3 施策体系図

[基本方針] [基本的な視点]

[基本目標]

[基本施策 (15項目)]



- 重点
施策
- (1) 新しい生活様式を取り入れたスポーツ活動の推進
 - (2) ジュニアアスリートを支える地域スポーツの充実
 - (3) 公共スポーツ施設の適切かつ持続可能な維持管理
 - (4) スポーツを核とする交流人口の拡大

[取り組みの方向 (40 項目)]

	重点施策			
	(1)	(2)	(3)	(4)
①幼児期からの運動あそびの推進 ②子どもを取り巻くスポーツ環境の確保・充実	○	○		
①成人のスポーツ活動の充実 ②高齢者のスポーツ活動の充実とスポーツによる生きがいづくりの推進	○			
①障がい者のスポーツ活動の充実 ②誰もが楽しめる障がい者スポーツの普及啓発・情報発信	○			
①市民スポーツイベントの開催・充実 ②地区まちづくり協議会や自治会などのスポーツ活動の支援 ③職場のスポーツ・健康づくり活動の支援 ④指定管理者などによるスポーツ教室・講座の充実				
①市民への効果的な情報発信と内容の充実 ②各種メディアを活用した市内外への情報発信 ③民間スポーツクラブ・スポーツ教室に関する情報発信	○			
①生涯スポーツにおけるリーダーや指導員の育成・確保 ②スポーツ推進委員の活動の充実				
①市スポーツ協会などの活動支援・連携強化 ②スポーツボランティアの確保・育成	○			
①総合型地域スポーツクラブとの連携強化 ②地域のスポーツクラブの活動支援		○		
①公共スポーツ施設の機能向上 ②民間のノウハウを活かした施設の管理運営 ③スポーツ施設の有効活用	○		○ ○ ○	
①ジュニアアスリートの育成・支援 ②優秀なスポーツ選手等の顕彰 ③競技スポーツ指導者の育成・確保		○ ○		
①トップアスリート育成のための支援 ②スポーツへの取り組み意欲を喚起する機会の創出				
①大規模スポーツ大会やプロスポーツなどの観戦機会の提供 ②トップレベルのスポーツ大会の誘致 ③全国規模のスポーツイベントの開催支援				○ ○
①市内スポーツ施設を活用したスポーツツーリズムの推進 ②全国大会やスポーツ合宿などの誘致・開催支援 ③スポーツイベントを活用したシティプロモーション ④ラグビーワールドカップ2019™のレガシー創出				○ ○ ○
①企業と連携したイベントなどの開催 ②プロスポーツチームなどとの連携・協働 ③静岡理工科大学との協働事業の開催				
①姉妹都市、友好都市などとのスポーツを通じた交流 ②アイルランドなどとのスポーツを通じた国際交流 ③外国人市民とのスポーツを通じた多文化共生の推進				

4 成果指標一覧

1 多様性に応じたスポーツ活動の推進

成果指標	現状値 (令和元年)	目標値 (令和7年)
成人のスポーツ実施率（週1回以上）	57.8% (令和2年)	65.0%
子育て世代（30～40歳代）のスポーツ実施率（週1回以上）	50.9% (令和2年)	58.0%
新体力テストで全国の平均を上回る種目の割合（小5・中2）	37.5%	68.8%
「運動が好き」と答える児童生徒の割合（小5・中2）	86.7%	92.0%
障がい者スポーツ大会参加者数	53人	65人

2 誰もが気軽に取り組めるスポーツ環境の提供

成果指標	現状値 (令和元年)	目標値 (令和7年)
袋井クラウンメロンマラソンの参加者	6,941人	7,500人
ウォーキングキャラバンの参加者	995人	1,100人
市内のスポーツ関連イベント等が新聞・テレビなどで取り上げられた回数	64回	70回

3 スポーツ活動を支える環境の充実

成果指標	現状値 (令和元年)	目標値 (令和7年)
スポーツボランティア登録数	27人	55人
スポーツの大会やイベントにボランティアとして参加したことがある割合	21.9% (令和2年)	32.0%
市内運動施設の利用者数	551,962人	625,000人

4 アスリートの育成とトップスポーツに触れる機会の創出

成果指標	現状値 (令和元年)	目標値 (令和7年)
スポーツ指導者派遣回数	170件	190件
全国スポーツ大会の出場者数	59件	70件
スポーツ指導者育成事業助成金交付件数	9件	27件

5 スポーツを通じた地域の活性化

成果指標	現状値 (令和元年)	目標値 (令和7年)
この1年で総合体育館「さわやかアリーナ」またはエコパで観戦した割合	27.1% (令和2年)	40.0%
この1年で総合体育館「さわやかアリーナ」でプロスポーツの試合や全国規模の大会を開催した回数	1回	6回

5 重点施策

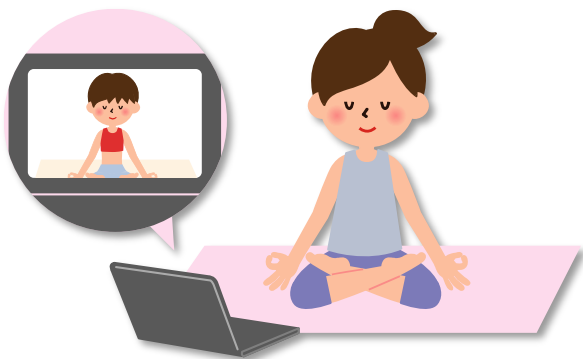
(1) 新しい生活様式を取り入れたスポーツ活動の推進

令和2年度には、新型コロナウイルス感染症の拡大により、家庭、学校、職場、地域における多くの活動が制限されるなど、生活様式が一変しました。スポーツ分野においても、大規模な大会やプロスポーツの中止・延期をはじめ、日常的なスポーツ活動にも大きな影響を及ぼしました。

この経験を踏まえ、新型コロナウイルス感染症の日常化や今後同様の社会情勢となった場合にもスポーツ活動が止まることのないよう「新しい生活様式」を取り入れた、個人やスポーツ団体の活動の在り方、実施方法（ICTの活用など）の確立が求められています。

あらゆる社会情勢の変化にも対応し得る「新しい生活様式」を取り入れたスポーツ活動の推進をめざし、次の重点施策を推進します。

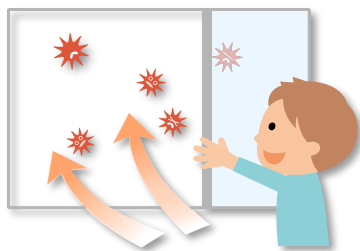
- ① 感染症流行時等の安心・安全なスポーツ活動の推進
- ② ICTの活用による新たな情報発信・スポーツ実施方法の確立
- ③ 団体（グループ）活動の継続支援と個人によるスポーツ活動の充実



スポーツイベントでの感染症対策の様子

【関連する取り組み】

- 1 (1) ②子どもを取り巻くスポーツ環境の確保・充実
- 1 (2) ①成人のスポーツ活動の充実
- 1 (2) ②高齢者のスポーツ活動の充実とスポーツによる生きがいづくりの推進
- 1 (3) ①障がい者のスポーツ活動の充実
- 2 (2) ①市民への効果的な情報発信と内容の充実
- 3 (2) ①市スポーツ協会などの活動支援・連携強化
- 3 (4) ③スポーツ施設の有効活用



(2) ジュニアアスリートを支える地域スポーツの充実

近年、子どもの運動離れや市内小中学生の運動能力低下が顕著であるとともに、市全体の競技力向上についても、ジュニア期における質の高い指導者による指導機会や練習環境の充実、各世代間における一貫性のある育成体制などが求められている中で、現状としては、指導者の高齢化や競技種目の減少、指導者間のネットワーク不足などが懸念されています。

また、中学校部活動の在り方が年々変化してきており、多様なニーズに応じた地域スポーツ（社会体育）での受け皿を確保・充実させる取り組みが求められています。

併せて、第4次袋井市スポーツ推進計画策定等に係る市民意識調査（令和2年6月実施）によると、約半数の方が本市の競技力を向上させる必要があると感じているなど、主にジュニア期における優秀な指導者の確保・育成が極めて重要であり、指導者資格取得などの助成の見直しや講習会の充実などの施策の展開も求められています。

このようなことから、アクティブ・チャイルド・プログラムを通じて、幼児期から運動あそびに触れる機会を充実させ、ジュニアアスリートの土台となる楽しみながら身体を動かす習慣を定着させるとともに、市スポーツ協会や総合型地域スポーツクラブなど市内スポーツ団体における各世代や競技間の意見交換の場を充実させるなど指導者間の連携強化を推進し、ジュニアアスリートを地域で“育て”“応援する”体制の構築に向け、次の重点施策を推進します。

- ① アクティブ・チャイルド・プログラムを活用した運動あそびの推進
- ② 市内スポーツ団体と連携したジュニア世代の地域スポーツによる受け皿の充実
- ③ 質の高い競技スポーツ指導者の確保・育成による競技レベルの向上
- ④ 学校部活（学校体育）と地域スポーツ（社会体育）との連携
- ⑤ 競技別選抜強化システムの構築



部活動指導の様子

【関連する取り組み】

- 1 (1) ①幼児期からの運動あそびの推進
- 1 (1) ②子どもを取り巻くスポーツ環境の確保・充実
- 3 (3) ①総合型地域スポーツクラブとの連携強化
- 4 (1) ①ジュニアアスリートの育成・支援
- 4 (1) ③競技スポーツ指導者の育成・確保



(3) 公共スポーツ施設の適切かつ持続可能な維持管理

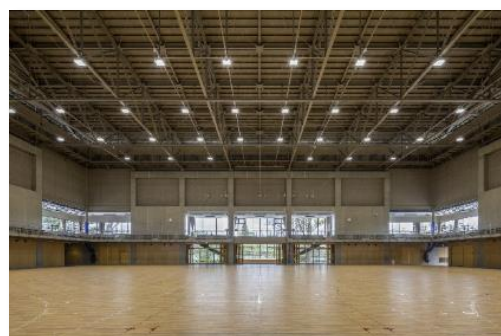
市民体育館の老朽化により、新たに市内初の民間資金や経営能力を活かした PFI 事業として総合体育館「さわやかアリーナ」を整備し、令和 2 年 4 月から供用を開始しました。市民はもとより、企業や市内在勤者の活用を促すとともに、PFI 事業での民間のノウハウを活かし、単にスポーツ施設としてだけでなく、市民の憩いの場として地域の賑わいの中心となっていくことが期待されています。

また、公共スポーツ施設の多くは、指定管理者制度を導入しています。今後は、引き続き、老朽化が進む施設・設備の適切な維持管理を行うことはもとより、指定管理者の創意工夫により市民ニーズを捉え、それぞれの施設機能や地域の特性に応じた自主事業の充実も求められています。

市民の健康志向の高まりに加え、スポーツに対する多様化するニーズに対応するとともに、いつでも・安心・安全にスポーツ活動を行うことのできる環境を継続的に提供するため、次の重点施策を推進します。

なお、公共スポーツ施設の今後の維持・管理においては、「袋井市スポーツ施設 3R プロジェクト（個別施設計画）」に基づく予防保全に努め、施設の長寿命化を図っていきます。

- ① 「袋井市スポーツ施設 3R プロジェクト（個別施設計画）」に基づく適切な公共スポーツ施設の維持・管理
- ② PFI 事業者及び指定管理者と連携した公共スポーツ施設の利活用促進



総合体育館「さわやかアリーナ」メインアリーナ

【関連する取り組み】

- 3 (4) ①公共スポーツ施設の機能向上
- 3 (4) ②民間のノウハウを活かした施設の管理運営
- 3 (4) ③スポーツ施設の有効活用

(4) スポーツを核とする交流人口の拡大

スポーツ庁では、「スポーツによる地域活性化」を目的としたスポーツと地域の観光資源が融合した旅を楽しむ「スポーツツーリズム」を推進しています。

本市においても、平成30年の全国高等学校総合体育大会弓道競技や令和元年のラグビーワールドカップ2019™では、国内外から多くの観戦客や競技者の往来があり、地域を挙げたおもてなしで観光や産業への影響も大きなものとなりました。

さらには、総合体育館「さわやかアリーナ」や袋井駅前の新産業会館「キラット」とそれに併設するホテルがオープンしたこともあり、本市や県が所有する施設の有効活用やスポーツと観光資源の更なる融合による交流人口の拡大が期待されています。

市民アンケート（令和2年6月実施「第4次袋井市スポーツ推進計画策定等に係る市民意識調査」）では、総合体育館「さわやかアリーナ」やエコパでのイベントについて、55.2%もの人がプロスポーツの試合や国際大会の開催を期待していることから、大会等の誘致や開催支援といった取り組みが求められています。

以上のことから、スポーツと観光・産業分野との連携や関係団体との協働により、国内外からより多くの方に本市を訪れていただき、本市の魅力を感じていただくため、次の重点施策を推進します。

- ① 市内観光資源・宿泊施設と連携したスポーツツーリズムの推進
- ② エコパやさわやかアリーナでの大規模大会誘致・支援
- ③ スポーツ合宿の誘致・支援
- ④ エコパのラグビー聖地化などに向けた関係団体との連携

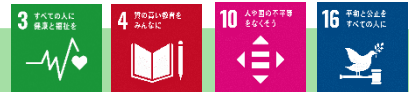


RWC2019™会場で打上げられた
ふくろい遠州の花火

【関連する取り組み】 RWC2019™会場周辺の様子

- 4 (3) ②トップレベルのスポーツ大会の誘致
- 4 (3) ③全国規模のスポーツイベントの開催支援
- 5 (1) ①市内スポーツ施設を活用したスポーツ
ツーリズムの推進
- 5 (1) ②全国大会やスポーツ合宿などの
誘致・開催支援
- 5 (1) ④ラグビーワールドカップ2019™の
レガシー創出

1 多様性に応じたスポーツ活動の推進



子どもたちをはじめ、市民だれもが、それぞれの年齢※や障がいの有無、国籍などの多様性を受け入れ合いながら、体力や年齢、技術、興味、目的に応じて、生涯にわたりスポーツに親しんでいく施策を展開します。

※本計画において、各世代の年齢区分については以下を想定しています。
 幼児期（～5歳）、子ども（6～17歳）、成人（18～64歳）、高齢者（65歳～）

【成果指標】

成果指標	現状値 (令和元年)	目標値 (令和7年)
成人のスポーツ実施率（週1回以上）	57.8% (令和2年)	65.0%
子育て世代（30～40歳代）のスポーツ実施率（週1回以上）	50.9% (令和2年)	58.0%
新体力テストで全国の平均を上回る種目の割合（小5・中2）	37.5%	68.8%
「運動が好き」と答える児童生徒の割合（小5・中2）	86.7%	92.0%
障がい者スポーツ大会参加者数	53人	65人

(1) 子どものスポーツ機会の充実と体力の向上

スポーツは、子どもにとって生涯にわたって健康でたくましく生きるための体力の基礎を培い、公正さと規律を尊ぶ態度や克己心を培うなど人間形成にも重要な役割を果たします。子ども自身が幼児期から体を動かすことの楽しさに触れ、すすんで体を動かすようになるためには、地域や家庭、学校などの身近な生活の場でのスポーツ活動を充実していくことが重要です。

近年、積極的にスポーツをする子どもとしない子どもの二極化が顕著である現状を踏まえつつ、すべての子どもが、楽しく親しみながら運動・スポーツの習慣を身に付け、生涯にわたり健康に生活するための土台を形成するとともに、体力向上につながるスポーツ環境の創出に努めます。

① 幼児期からの運動あそびの推進

幼児期から運動あそびを通じて体を動かす楽しさを覚え、運動習慣の土台形成につなげるよう、親子で楽しめる教室や各種指導者派遣事業を開催します。

主な取り組み内容	事業概要
親子運動あそび教室の開催	アクティブ育児応援プログラムの一環として、幼稚園・保育園・こども園からの要請により、園児とその親を対象に、親子運動あそび教室を開催します。
アクティブ・チャイルド・プログラムの推進重点2	日本スポーツ協会が推奨するアクティブ・チャイルド・プログラムを親子運動あそび教室や幼稚園・保育園・こども園・小学校などで実践の場を広げるとともに、冊子やホームページなどにより市民に広く発信します。
スポーツクリニックの開催重点2	幼児を対象としたトップアスリートによるスポーツクリニックを開催します。
出前指導の実施	幼稚園・保育園・こども園からの要請により、スポーツ推進委員によるニュースポーツや運動あそびなどの出前指導を実施します。
エアロビック講師の派遣	幼稚園や保育園・こども園からの要請により、エアロビック指導員の講師を派遣します。
幼児向けスポーツプログラムの開催	総合体育館「さわやかアリーナ」をはじめとする市内公共スポーツ施設で、指定管理者による幼児向けスポーツプログラムを開催します。



親子運動あそび教室

② 子どもを取り巻くスポーツ環境の確保・充実

より多くの子どものスポーツ習慣の定着化に向け、学校や地域での各種スポーツ教室や体験会などの開催を通じて、気軽にさまざまなスポーツに触れ、スポーツへの興味・関心を持つきっかけとなる機会の充実を図ります。

また、小中学校の学校体育における各種スポーツ大会や部活動の在り方が年々変化してきていることを踏まえ、スポーツ少年団や地域スポーツクラブなどのスポーツ関係団体、放課後児童クラブなどの学校外での受け皿確保とともに、スポーツ活動の場の充実に努めます。

主な取り組み内容	事業概要
親子スポーツ教室の開催	スポーツ推進委員による小学生とその親を対象とした親子スポーツ教室を開催します。
スポーツクリニックの開催【再掲】重点2	トップアスリートによるスポーツクリニックを開催します。
出前指導の実施【再掲】	地域の子ども会や地区まちづくり協議会などからの要請により、スポーツ推進委員によるニュースポーツやタグラグビーなどの出前指導を実施します。
エアロビック講師の派遣【再掲】	小中学校などからの要請により、エアロビック指導員の講師を派遣します。
ウォーキング普及事業の開催	市スポーツ協会各支部や地区まちづくり協議会などとの連携により、地域でのウォーキングイベントを開催します。また、民間が主催するウォーキングイベントの開催を支援します。
小中学校でのタグラグビー体験教室の実施	ラグビーワールドカップ 2019 TM のレガシー事業として、小中学校でタグラグビー教室を開催します。
学校部活動とスポーツ関係団体との連携重点2	学校部活動を補完するため、スポーツ関係団体との連携により部活動への指導者の派遣や学校外での活動環境の充実に向けた検討を進めます。
放課後児童クラブなどでのスポーツ体験教室等の開催	放課後児童クラブや放課後子ども教室などからの要請により、タグラグビーやニュースポーツなど各種スポーツの教室を開催します。併せて、他クラブとの競技を通じた交流会を開催します。
スポーツ少年団の活動支援	市スポーツ協会を通じて会場使用料を減免するほか、スポーツ少年団に関する情報発信や加入前の子どもたちが様々な競技に触れる機会を創出するなど、加入促進と活動の充実を図ります。
市内高等学校部活動の活動支援・連携	野球の定期戦の開催を支援するほか、その他の部活についても、市内スポーツイベントへの参加促進やトップアスリートとの交流機会の創出などの連携を図ります。
リモートによるスポーツ教室・講座の開催重点1	個人やスポーツ少年団などを対象に、ICTを活用したリモートによるスポーツ教室・講座を開催します。

(2) ライフスタイルに合わせたスポーツ機会の充実

市民が個々のライフスタイルに応じてスポーツ活動に取り組むことは、生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営むために必要不可欠です。年代や性別、職業、障がいの有無、国籍など、各々の環境や生活習慣などによる様々なニーズに応じたスポーツイベントや教室の開催をはじめ、誰もが日常的に健康づくりや体力づくりを目的としたスポーツ活動に取り組むことができる環境づくりを推進します。

① 成人のスポーツ活動の充実

仕事や結婚、子育てなど、多くのライフイベントにより、スポーツ活動にあてる時間の確保が難しい年代に対しても、それぞれのニーズに合わせてスポーツ活動へ参画しやすい環境の充実を図り、市民一人ひとりが日常生活の一部にスポーツ活動を取り込むよう働きかけていきます。特に、スポーツ実施率が低調な働く世代・子育て世代に対しては、より参加しやすいような企画や実施方法を検討し、スポーツ活動への積極的な参画を促進します。

主な取り組み内容	事業概要
スポーツ教室の開催	スポーツ関係団体や、指定管理者の主催で、スローエアロビックやアクアビクス、ピラティス教室など、成人向けのスポーツ教室・講座を開催します。特に、働く世代や子育て世代のメニューの充実や託児所付きなど参加しやすい環境づくりに努めます。
親子スポーツ教室の開催【再掲】	スポーツ推進委員による小学生とその親を対象とした親子スポーツ教室を開催します。
親子運動あそび教室の開催【再掲】	アクティブ育児応援プログラムの一環として、幼稚園・保育園・こども園からの要請により、園児とその親を対象に、親子運動あそび教室を開催します。企業や各種団体などにも広く周知し、子育て世代の運動機会を提供します。
ニュースポーツ普及事業の推進	スポーツ推進委員によるニュースポーツの出前指導や練習会・交流会、ニュースポーツフェスタを開催します。
エアロビック講師の派遣【再掲】	地区まちづくり協議会やスポーツ関係団体などからの要請により、エアロビック指導員の講師を派遣します。
ウォーキング普及事業の開催【再掲】	市スポーツ協会各支部や地区まちづくり協議会などとの連携により、地域でのウォーキングイベントを開催します。また、民間が主催するウォーキングイベントの開催を支援します。
「#2961ウオーク」の利用促進重点1	「歩く(歩数)」を主としてポイント化する健康ポイントシステム「#2961(ふくろい)ウオーク」を広く周知し、利用を呼びかけます。また、利用者の継続的な活用につながるよう、必要に応じてシステムの改修や制度の見直しを検討します。
リモートによるスポーツ教室・講座の開催【再掲】重点1	ICTを活用したリモートによるスポーツ教室・講座を開催します。

② 高齢者のスポーツ活動の充実とスポーツによる生きがいづくりの推進

健康寿命の延伸に向けた、ニーズや運動レベルに合わせたスポーツイベント・教室の開催など、高齢者のスポーツ活動の機会の充実を図ります。また、地区まちづくり協議会やスポーツ関係団体との連携などによる他者と関わり合いを持つ機会を創出し、スポーツ活動を通じた生きがいづくりを推進します。

主な取り組み内容	事業概要
スポーツ教室の開催【再掲】	スポーツ関係団体や指定管理者の主催で、スローエアロビックやアクアビクス、ピラティス教室など、高齢者向けのスポーツ教室・講座を開催します。
介護予防筋トレマシン教室の開催	65歳以上を対象に、介護予防を目的としたマシンによる筋力づくりやストレッチ体操、家庭でできる筋力トレーニングを紹介する筋トレマシン教室を開催します。
ニュースポーツ普及事業の推進【再掲】	シニアクラブやふれあい・いきいきサロンとの連携によるニュースポーツの出前指導や練習会・交流会、ニュースポーツフェスタを開催します。
スポーツ・運動に関わる指導員の派遣	地区まちづくり協議会やふれあい・いきいきサロンなどからの依頼により、スローエアロビックや健康づくりに関する指導員の講師を派遣します。
ウォーキング普及事業の開催【再掲】	市スポーツ協会各支部や地区まちづくり協議会などとの連携により、地域でのウォーキングイベントを開催します。また、民間が主催するウォーキングイベントの開催を支援します。
「#2961ウオーク」の利用促進【再掲】重点1	「歩く(歩数)」を主としてポイント化する健康ポイントシステム「#2961(ふくろい)ウオーク」を広く周知し、利用を呼びかけます。また、利用者の継続的な活用につながるよう、必要に応じてシステムの改修や制度の見直しを検討します。
リモートによるスポーツ教室・講座の開催【再掲】重点1	ICTを活用したリモートによるスポーツ教室・講座を開催します。



アザレア・スポーツクラブによる高齢者運動教室

(3) 障がい者のスポーツ活動の推進

障がいのある方にとってのスポーツ活動の推進は、健康増進だけでなく、生きがいづくりや社会参加の促進など、生活の質の向上につながる大きな役割を果たします。また、障がいのある方もない方も分け隔てなく、一緒になってパラスポーツを楽しむ機会を提供することにより、多様性を認め合い、誰もが活躍できるダイバーシティ&インクルージョン社会の実現にむけた市民意識の高揚を図ります。

① 障がい者のスポーツ活動の充実

障がいの種別や程度に関わらず、誰でも気軽にスポーツに親しむことのできる環境の整備に向けて、市社会福祉協議会やスポーツ関係団体との連携により、各種スポーツ教室やイベントなどの開催のほか、障がい者の施設利用料の減免など、よりスポーツ活動に参画しやすい環境の整備に努めます。

主な取り組み内容	事業概要
障がい者スポーツ大会等への参加促進	静岡県障がい者スポーツ大会の開催を広くPRし、積極的な参加を呼びかけます。
スポーツ施設利用料の減免	障がいのある方が気軽にスポーツ施設を利用できるようスポーツ施設利用料の減免を行うとともに、減免制度の周知に努めます。
障がい者スポーツ教室の開催	コミュニティセンターや公会堂などで、スポーツ推進委員による障がい者スポーツ教室を開催します。
エアロビック講師派遣事業の推進【再掲】	静岡県立袋井特別支援学校や各種福祉団体などからの要請により、エアロビック指導員の講師を派遣します。
ウォーキング普及事業の開催【再掲】	市スポーツ協会各支部や地区まちづくり協議会などとの連携により、地域でのウォーキングイベントを開催します。
「#2961ウオーク」の利用促進【再掲】重点1	「歩く(歩数)」を主としてポイント化する健康ポイントシステム「#2961(ふくろい)ウオーク」を広く周知し、利用を呼びかけます。また、利用者の継続的な活用につながるよう、必要に応じてシステムの改修や制度の見直しを検討します。



健康ポイントシステム「#2961 ウォーク」

② 誰もが楽しめる障がい者スポーツの普及啓発・情報発信

パラスポーツの普及・啓発を進め、障がいのある方もない方も一緒に楽しむことのできる体験型イベントの開催や、障がい者スポーツに関する情報発信等を通じて、市民の障がい者スポーツへの意識の高揚を図ります。

主な取り組み内容	事業概要
パラスポーツ体験イベントの開催	障がいの有無に関わらず、多くの市民がパラスポーツに触れ、理解と共感を深めてもらうため、ボッチャや車いすテニス等のパラスポーツの体験イベントを開催します。
障がい者スポーツに関する情報発信	市ホームページや広報誌などにより、市内外で開催される障がい者スポーツ大会の情報やパラスポーツ競技の紹介など、市民に広く情報発信します。



障がい者スポーツ教室

2 誰もが気軽に取組みめるスポーツ環境の提供



多くの市民が気軽に参加できるスポーツイベントの開催や、地区まちづくり協議会や職場などへの支援を通じて、市民が身近な場面でスポーツ活動に取り組みやすい環境整備にかかる施策を展開します。また、スポーツや健康に関連する情報を様々な媒体から効果的に発信することで、一人でも多くの市民に情報を伝え、市民のスポーツへの参画意欲の高揚を図ります。

【成果指標】

成果指標	現状値 (令和元年)	目標値 (令和7年)
袋井クラウンメロンマラソンの参加者	6,941人	7,500人
ウォーキングキャラバンの参加者	995人	1,100人
市内のスポーツ関連イベント等が新聞・テレビなどで取り上げられた回数	64回	70回

(1) 誰もが参加したくなるスポーツイベントの開催

多くの市民が参加できるイベントから地域で行う少人数のイベントまで、誰もがすすんで参加したくなる魅力ある市民参加型のスポーツイベントを開催することで、スポーツを継続して行うきっかけと環境を提供します。

① 市民スポーツイベントの開催・充実

市や市スポーツ協会などが主催する市民対象のスポーツイベントを継続して開催していくことで、気軽にスポーツに親しみながら取り組む機会を提供します。また、幅広い年代で、様々な個性や技量を持った方の参加を促進し、相互に交流することで、スポーツの楽しさや取り組み意義を享受するきっかけとなるよう努めます。

主な取り組み内容	事業概要
市民参加型のスポーツイベントの開催	市スポーツ協会と連携し、袋井クラウンメロンマラソンや市駅伝大会などのスポーツイベントを開催します。
運動・スポーツによる交流イベント開催支援	市スポーツ協会やスポーツ関係団体などが主催するファミリーバドミントン大会やデカスポテニス交流大会などのニュースポーツ大会、市民健康ラジオ体操の集いなどの開催を支援します。

②地区まちづくり協議会や自治会などのスポーツ活動の支援

地域住民が誰でも気軽に参加できるコミュニティセンター主催のスポーツイベントや地区体育祭、ウォーキングキャラバンなどの地域スポーツイベントの開催を支援します。

主な取り組み内容	事業概要
地域スポーツイベントの開催支援	市スポーツ協会各支部による地区体育祭やウォーキングキャラバンなど、各地区のイベント開催を支援します。
地区まちづくり協議会主催のスポーツイベントの開催支援	地区まちづくり協議会がそれぞれの地域で開催するスポーツイベントにおいて、スポーツ推進委員との連携や、各種スポーツ関係団体の協力を促します。

③ 職場のスポーツ・健康づくり活動の支援

運動・スポーツに時間を取ることが難しい働く世代の運動・スポーツ機会の確保と健康増進に向け、職場で気軽にスポーツ・運動を行えるような環境づくりなど、企業と連携したスポーツ・健康づくり活動を推進します。

主な取り組み内容	事業概要
出前健康教室の実施	市内事業所・団体へ運動指導者や保健師、栄養士を派遣し、手軽にできる運動の紹介や健康講話などを行います。
企業に対するスポーツ情報の発信	市内商工団体との連携により、市のスポーツイベントや施設情報を企業を通じて発信し、参加・利用を促進します。
企業のスポーツイベントへの支援	企業対抗体育大会やJ Rさわやかウォーキングなどの企業独自のスポーツイベントの開催を支援します。

④ 指定管理者などによるスポーツ教室・講座の充実

市内スポーツ施設の機能を有効活用するとともに、各施設や地域の特性や市民ニーズに応じたスポーツ教室・講座（自主事業）の充実を図ります。

主な取り組み内容	事業概要
市民ニーズに対応したスポーツ教室・講座の開催	指定管理者による各施設の機能や地域の特性を活かし、多様化する市民ニーズに対応したスポーツ教室・講座を開催します。

(2) 効果的なスポーツ情報の提供

年代や趣味嗜好により、情報収集の方法も多様化しているため、市民一人ひとりが求めている情報をそれぞれが求める形で受信できるよう、既存の媒体を活用しつつ、ICTなども最大限に活用し、効果的に情報を発信します。また、イベント情報や市内のアスリートの情報などについては、メディアを通じて市内外に広く発信することで、市の魅力発信と認知度向上につなげます。

①市民への効果的な情報発信と内容の充実

市内スポーツ大会やイベント、教室の開催案内をはじめ、スポーツ施設の利用方法・料金などを様々な媒体を活用し、誰が見ても分かりやすく提供します。また、市内在住のアスリートの紹介や市内団体・チームの全国大会出場などの情報を効果的に発信するなど、内容の充実に努めます。

主な取り組み内容	事業概要
広報ふくろい・ホームページによる情報発信	スポーツイベント情報や大会・教室の開催案内、スポーツ施設利用方法・料金など、広報ふくろいやホームページに随時分かりやすく掲載し、市民に発信します。
メローねっとの活用などICTを活用した情報発信 重点1	イベントや施設情報などをメローねっとやLINEなどのSNSにより効果的に発信するとともに、その他ICTを活用した新たな情報発信方法を検討します。併せて、各スポーツ団体からの情報についても的確に市民に提供できるようSNSの有効活用など効果的な発信方法を検討します。
市スポーツ協会と連携した情報発信	市スポーツ協会の広報誌やホームページで、イベント情報などを発信するとともに、市内団体・チームの全国大会出場や入賞など、活躍の情報を提供します。

② 各種メディアを活用した市内外への情報発信

イベント情報や有望なアスリートの情報などを積極的にメディアへ情報提供し、市民のイベントへの参加促進を図るとともに、市内外に広く情報を発信します。

主な取り組み内容	事業概要
報道機関・地元情報誌を活用した情報発信	新聞・テレビ・ラジオなどのメディアへの積極的な情報提供を行い、スポーツに関する情報を市内外へ広く発信します。
トップ広報を活かした情報発信	各種スポーツイベントにかかる情報を市長定例記者会見により広く発信します。

③ 民間スポーツクラブ・スポーツ教室に関する情報発信

民間スポーツクラブ・スポーツ教室の情報を積極的に発信し、市民の多様なニーズに応じたスポーツ活動の推進に努めます。

主な取り組み内容	事業概要
民間スポーツクラブ・スポーツ教室の情報発信	民間スポーツクラブやスポーツ団体が開催する教室・講座に関する情報発信を行います。

3 スポーツ活動を支える環境の充実



市民の日常的なスポーツ活動を支える市スポーツ協会やスポーツ推進委員会、各種スポーツ関係団体との連携の強化により、市民ニーズに応じた「する」「支える」スポーツ環境の充実に向けた施策を展開します。

また、総合体育館「さわやかアリーナ」をはじめとする市内スポーツ施設については、適切な施設運営・維持管理に努め、市民が気軽に、また安心・安全・快適に利用できる質の高いサービスの提供によりハード面での環境の充実を図ります。

【成果指標】

成果指標	現状値 (令和元年)	目標値 (令和7年)
スポーツボランティア登録数	27人	55人
スポーツの大会やイベントにボランティアとして参加したことがある割合	21.9% (令和2年)	32.0%
市内運動施設の利用者数	551,962人	625,000人

(1) 生涯スポーツを推進するスポーツ指導者の育成と確保

年代や障がいの有無などを問わず、誰もが生涯を通じて取り組むことができる生涯スポーツの効果的な推進に向け、市スポーツ協会やスポーツ推進委員会、障がい者スポーツ関係団体などと連携し、地域におけるリーダー的存在の確保と指導者の資質向上を図ります。また、スポーツの楽しさや充実感を伝えるとともに、各年代や障がいの程度に応じた柔軟な技術指導ができる人材の育成と指導者同士の連携強化に努めます。

① 生涯スポーツにおけるリーダーや指導員の育成・確保

市スポーツ協会や障がい者スポーツ関係団体などとの連携により、地域における生涯スポーツを推進するリーダー・指導員の育成・確保のため、ニーズに合わせた講習会や研修会などを開催します。また、国・県などが開催する資格取得講習会や研修会の情報提供や参加支援に努めます。

主な取り組み内容	事業概要
スポーツ指導員やリーダーなどの育成と連携・強化	レクリエーション協会等で開催している各種講習会への参加を広く市民へ呼び掛けるなど、指導員等の育成に努めます。また、市内で活動するスポーツ関係団体の指導者同士の連携・強化を図り、後継者の育成や確保の支援に努めます。
指導者講習会の開催・誘致	指定管理者や市内スポーツ関係団体と連携し、総合体育館「さわやかアリーナ」をはじめとする市内公共スポーツ施設で各種指導者講習会の開催や誘致に取り組みます。
エアロビック指導法研修会の開催	エアロビックの普及啓発を目的に、専門的な指導方法を学ぶ指導法研修会を開催します。
スポーツ指導者育成事業助成金の交付	市内在住かつ市内スポーツ団体に所属している方を対象に、スポーツ指導者の資格取得や更新などにかかる費用を助成します。

② スポーツ推進委員の活動の充実

スポーツ推進委員のスキルの向上を図るため、対象者のニーズやレベルに応じた技術指導の研修会を開催するほか、市内外で開催されるスポーツ大会や実技研修会にスポーツ推進委員を派遣し、活動の場を広げていきます。

また、スポーツ推進委員会と各地区まちづくり協議会や市スポーツ協会各支部の繋がりを深め、コーディネーターとして地域特性やニーズに沿った生涯スポーツの在り方を検討し、それぞれの地域に適したニュースポーツの普及イベントやスポーツ大会などの企画・運営への参画を図ります。

主な取り組み内容	事業概要
スポーツ推進委員研修会の開催	スポーツ推進委員の資質向上や技能取得のため、スポーツ推進委員会が主体となって研修会を開催します。
県スポーツ推進委員連絡協議会が行う研修会などへの派遣	スポーツ推進委員の資質向上や技能取得のため、県などが行う研修会などへスポーツ推進委員を派遣します。
地区まちづくり協議会との連携	スポーツ推進委員と地区まちづくり協議会との連携を深め、地域の要望に合わせたスポーツ大会やイベントなどの企画・運営に積極的に参画します。



親子スポーツ教室

(2) スポーツ関係団体との連携強化

スポーツ関係団体との連携・協力により、時代潮流や多様化している市民のニーズを踏まえ、多くの市民がスポーツに親しむことのできるスポーツ環境の充実を図ります。また、スポーツ関係団体やスポーツボランティアをはじめとするスポーツを「支える」団体・人材の育成に努めます。

① 市スポーツ協会などの活動支援・連携強化

市スポーツ協会は、競技力の向上を図る競技部をはじめ、地域スポーツの核となる支部、スポーツ少年団などのスポーツ関係団体を統括し、子どもから高齢者までのすべての市民のスポーツ活動を推進する中核としての役割を果たしています。市スポーツ協会を通じてスポーツ関係団体の活動を支援するほか、クラウンメロンマラソンなど大規模なスポーツイベントから地域で行うスポーツ教室・講座などの開催まで、各種スポーツイベントにおける連携・支援に努めます。

併せて、その他スポーツ関係団体が開催する各種大会やスポーツイベントの開催支援とともに、団体間の情報交換や連携を促すことにより、スポーツ環境を提供するあらゆるスポーツ団体が活動しやすい環境を整えます。

主な取り組み内容	事業概要
市スポーツ協会補助金交付	市スポーツ協会へ補助金を交付し、各競技部や支部、スポーツ少年団の運営や各種スポーツイベントの開催を支援します。
クラウンメロンマラソンの開催支援	クラウンメロンマラソンに関し、補助金を交付するとともに、企画・運営にかかる支援・協力を行います。
感染症流行時などの対応体制の確立重点1	新型コロナウイルス感染症対策の経験を踏まえ、感染症の流行時などの緊急事態にも、スポーツ活動が継続できる体制を整えます。
スポーツ関係団体間の連携	市内スポーツ関係団体間の連携を図るため、情報交換の場や協力体制の構築など、ネットワーク化を図ります。
スポーツ関係団体事業の共催・後援	スポーツ関係団体が計画する大会や記録会などを共催または後援し、事業開催を支援します。
小笠山総合運動公園使用料補助金の交付	小笠山総合運動公園内運動施設の利活用を促進するため、市内のスポーツ団体が運動施設を利用して行う事業に補助金を交付します。



袋井クラウンメロンマラソン

② スポーツボランティアの確保・育成

スポーツボランティアは、身近なスポーツ活動から総合体育館「さわやかアリーナ」やエコパなどでの大規模スポーツイベントまで、様々な形でスポーツ活動に携わり、アスリートの活動やイベントの準備・運営などを支えています。一方で、活動する人材の減少や高齢化が進んでおり、さらには、スポーツ活動への貢献や関わり合いを希望しない市民が増加している現状があります。市スポーツ協会などスポーツ関係団体との連携により、スポーツボランティアの役割や必要性、やりがいを広く発信することで人材の確保・育成に努めるとともに、ボランティアの在り方自体の見直しを図り、スポーツボランティアの活動を支援する環境を整備します。

主な取り組み内容	事業概要
スポーツボランティアの周知及び人材確保	市スポーツ協会ボランティア委員会と連携し、ボランティアの役割や必要性、やりがいなどを効果的に発信し、ボランティアに参画する人材の確保に努めます。また、国際交流協会や社会福祉協議会など関係機関と連携し、外国語や手話通訳者などの確保に努めます。
スポーツボランティアの資質向上	スポーツボランティア資質向上のため、研修会や講習会などの開催を支援します。
スポーツボランティアの魅力ある活動の場の提供	市内のスポーツ大会やイベントにて、より多くの市民が参画したいと感じるようなボランティアの機会を提供します。



RWC2019™ 市独自ボランティアの活動

(3) 地域スポーツクラブとの連携と活動支援

住民が主体的に参画する地域のスポーツ環境を整備することは、地域コミュニティの形成において重要な意義を有し、同時に生涯を通じた住民のスポーツ参画の基盤となります。このような観点から、市内や各地域で活動しているスポーツクラブが、地域スポーツの担い手としての重要な役割を果たしていけるよう、市スポーツ協会やスポーツ関係団体などとの連携強化を図り、その活動を支援します。

① 総合型地域スポーツクラブとの連携強化

市と既存のスポーツクラブとの連携を強化するとともに、クラブ間の資源の共有・相互補完や運営者同士の情報交換などによりスポーツの普及・定着に努めます。

主な取り組み内容	事業概要
総合型地域スポーツクラブとの連携	総合型地域スポーツクラブが主催する各種競技種目の教室・講座の開催を支援します。
指導者講習会の開催支援 重点2	総合型地域スポーツクラブによる市内スポーツ団体向けの指導者講習会等の開催を支援します。

② 地域のスポーツクラブの活動支援

地域スポーツクラブが継続的に活動できるよう、クラブの活動の場や他クラブとの交流の機会を提供します。また、地域スポーツクラブの認知度を高め、市民の参画を促進するため、積極的な情報発信を行います。

主な取り組み内容	事業概要
既存クラブの活動支援と新規クラブの育成	学校開放など、活動の場を提供するほか、他クラブとの交流大会の開催などを通じてクラブ活動の維持を支援します。また、市民ニーズに応じた新たなスポーツクラブの育成を支援します。
地域スポーツクラブの情報発信	広報ふくろいや市ホームページ、SNS等、様々な媒体により、地域スポーツクラブ活動を情報発信し、認知度の向上に努めます。



アザレア・スポーツクラブによるタグラグビー教室

(4) 公共スポーツ施設の充実と適切な管理運営

市民の個人での日常的な健康づくりやスポーツ・レクリエーション活動に対するニーズが多様化している中、誰もが利用しやすい施設となるよう改善を図りながらハード、ソフト両面からスポーツ施設の機能向上を図るとともに、指定管理者の民間のノウハウを活用しつつ、スポーツ施設の有効活用を推進します。

① 公共スポーツ施設の機能向上

市民誰もが、それぞれのニーズに合わせて安心・安全・快適に施設を利用できるように「スポーツ施設3Rプロジェクト（個別施設計画）」に基づく、適切な管理・運営を行うとともに、各施設における機能の向上に努めます。

主な取り組み内容	事業概要
「スポーツ施設3Rプロジェクト」に基づく維持・管理重点3	計画的な大規模改修等による長寿命化や性能水準の引き上げ、規模・配置の最適化を図ります。
感染症対策の徹底重点1	新型コロナウイルス感染症対策の経験を踏まえ、日頃から安心・安全に利用できる施設管理・運営を徹底します。

② 民間のノウハウを活かした施設の管理運営

公共スポーツ施設が適切に管理・運営されるよう、引き続き、指定管理者制度の活用により、民間のノウハウを最大限に活かしつつ、市民ニーズに応じた適切な施設の管理運営に努めます。

主な取り組み内容	事業概要
モニタリングの実施重点3	指定管理者による施設の適正な管理・運営を、毎月の報告に加え、毎年度、モニタリングを実施します。
指定管理施設の枠組みの検討	指定管理期間の更新時期に、指定管理を委託している施設の、より効率的・有効的な管理運営となる枠組みを検討します。
サウンディング（市場調査）の実施	市民ニーズや施設の有効的な利活用とともに適切な指定管理委託料の算定のため、サウンディング（市場調査）を実施します。

③ スポーツ施設の有効活用

スポーツ活動への多様化する市民ニーズへの対応と既存施設の有効活用を目的に、指定管理者による施設を活用した自主事業の拡充を図るとともに、学校運営への支障がない範囲で学校体育施設有効活用のため、一般開放を継続します。また、市民の利便性の向上に向け、予約方法の見直しについて検討するとともに、学校体育施設の利用については、現在、学校体育施設利用管理指導員を中心に運営を行っていますが、管理指導員の高齢化が顕著で後継者の選定に苦慮しているため、より市民や団体が利用しやすい予約方法への移行に向け、検討を進めます。

主な取り組み内容	事業概要
指定管理者によるスポーツ教室・講座の開催 重点3	多様化する市民ニーズと各施設や地域の特性に応じた指定管理者によるスポーツ教室・講座を開催します。
学校体育施設の開放	市内すべての学校体育施設（小学校12校、中学校4校）において、より市民や団体が利用しやすい方法で休日や夜間の施設開放を行います。
I C Tを活用した予約システム導入に向けた検討 重点1	I C Tを活用し、市民・団体がより利用しやすい予約システムの導入に向けた検討を進めます。



指定管理者によるスポーツ教室

4 アスリートの育成とトップスポーツに触れる機会の創出



ジュニアアスリートの育成支援をはじめ、トップアスリートとの交流機会の創出やアスリートを育てる指導者の指導力向上など、競技力向上に向けた施策を展開します。

また、スポーツを“観る”機会を充実させるとともに、ハイレベルな大会や競技会の誘致、開催支援を行うことで、市民の競技スポーツに対する意識の高揚と、多くの子どもたちが大きな目標を持って競技スポーツに取り組むきっかけを創出します。

【成果指標】

成果指標	現状値 (令和元年)	目標値 (令和7年)
スポーツ指導者派遣回数	170 件	190 件
全国スポーツ大会の出場者数	59 件	70 件
スポーツ指導者育成事業助成金交付件数	9 件	27 件

(1) スポーツの競技力向上

市内から全国大会など大規模な大会・競技会で活躍できるアスリートをより多く輩出するため、ジュニア期から優秀な指導者のもと、整った環境でトレーニングができるよう、活動に対する支援と指導者の資質向上に向けた取り組みを推進します。

① ジュニアアスリートの育成・支援

市スポーツ協会や各種競技団体などのスポーツ団体との連携により、全国規模の大会や競技会で活躍できるジュニアアスリートを育成する環境の充実を図ります。また、競技種目が多様化している現状を踏まえ、ニーズに応じて複数競技に関連するトレーニングセミナーや専門競技以外のトレーニングを取り入れるクロストレーニングの開催など、競技間の連携や協働を推進します。

主な取り組み内容	事業概要
学校部活動との連携によるジュニアアスリート育成 重点2	学校部活動への指導者の派遣や学校と地域との情報交換を密に行うなど、効率的かつ継続的な指導が行える環境整備に向けた検討を進めます。
指導者研修会・講習会の開催 重点2	スポーツ指導者や教員を対象に、コーチングなどの資質向上に向けた研修会・講習会を開催します。併せて、マネジメントリーダーの育成も行います。

主な取り組み内容	事業概要
ジュニアアスリートの地域の受け皿の拡大 重点2	学校部活動の役割を段階的に地域で補完する体制の構築や、学校部活動にないニーズに対応した競技種目の受け皿確保など、スポーツクラブやスポーツ関係団体などと連携し、児童・生徒がスポーツに取り組む新たなシステムの構築と受け皿拡大に向けた検討を進めます。
ジュニアアスリート強化システムの充実 重点2	市スポーツ協会と連携し、選手強化システムの充実や競技別選抜練習会（トレセンなど）を開催するとともに、総合型地域スポーツクラブとの連携により、複数種目に関連したトレーニングセミナーの開催を検討します。
選手の育成	市スポーツ協会との連携により、市町対抗駅伝に向けた練習会やランニングキッズなどの実施により、選手の育成を図ります。
スポーツ少年団の活動支援	市スポーツ協会を通じて会場使用料を減免するほか、スポーツ少年団に関する情報発信や加入前の子どもたちが様々な競技に触れる機会を創出するなど、加入促進と活動の充実を図ります。
各年代に応じた適正な指導の徹底	医師や理学療法士によるケガの防止に関する講義の実施や市スポーツ協会をはじめとするスポーツ関係団体との連携により、年代に応じた適切な運動量・練習量を見極め、ジュニアアスリートがより長く競技を継続できるよう努めます。

② 優秀なスポーツ選手等の顕彰

アマチュアの各種競技における全国大会出場者（個人・団体）への助成金の交付や、優秀なアスリートや指導者などの表彰を行い、競技者のモチベーションの向上と市全体の競技力の底上げを図ります。

主な取り組み内容	事業概要
全国大会等出場助成金の交付	全国大会等に出場する選手・団体に対し助成金を交付します。
顕彰機会の創出	市スポーツ協会総会での表彰において、活躍が顕著である選手や指導者等を顕彰します。



市スポーツ協会による表彰

③ 競技スポーツ指導者の育成・確保

市スポーツ協会や総合型地域スポーツクラブをはじめとするスポーツ関係団体と連携し、講習会・研修会などを開催し、指導者の資質向上に繋がる機会を充実します。

また、国や県が開催する講習会等の情報提供を効果的に発信します。

主な取り組み内容	事業概要
指導者講習会の開催 重点2	市スポーツ協会やスポーツ関係団体などと連携し、様々な分野の専門性が高い講師による指導者向けの講習会を開催します。
熱中症対策研修会の開催	市スポーツ少年団の指導者や保護者に対し、熱中症対策に関する正しい情報を提供します。また、必要に応じて、市スポーツ協会との連携により研修会を開催します。
スポーツ指導者の養成講習会にかかる周知・支援 重点2	各競技団体や国・県スポーツ協会などで開催している各種講習会の情報提供を行うとともに、積極的に参加できるよう支援を行います。
スポーツ指導者育成事業助成金の交付	市内在住かつ市内スポーツ団体に所属している方を対象に、スポーツ指導者の資格取得や更新にかかる費用を助成します。



スポーツ活動取組講習会

(2) トップアスリートとの交流促進

オリンピックをはじめとするトップアスリートとの交流や指導機会の提供、講話の開催などを通じて、多くの市民のスポーツへの興味・関心を高めるとともに、幅広い年代の競技者の取り組み意欲を喚起します。

① トップアスリート育成のための支援

トップアスリートや指導者などを招聘したスポーツクリニックを開催し、ジュニアアスリートがトップレベルの技術に触れる機会を創出します。

主な取り組み内容	事業概要
スポーツクリニックの開催 【再掲】	トップアスリートによるスポーツクリニックを開催します。 (ラグビー・エアロビックなど)
小中学校へのトップアスリートの派遣	小中学校やスポーツ関係団体などへ近隣プロチームなどの選手や指導者を派遣します。

② スポーツへの取り組み意欲を喚起する機会の創出

プロスポーツ選手やオリンピックなどのトップアスリートによる講演会やシンポジウムなどの開催を通じて、アスリートが持つ経験や実績を背景に、競技者としてのメンタリティやスポーツの楽しさ、達成感などを伝え、スポーツへの取り組み意欲を喚起する機会を提供します。

主な取り組み内容	事業概要
スポーツ講演会の開催	プロスポーツ選手やオリンピックなどによる講演会を開催します。
スポーツイベントへのトップアスリートの招聘	トップアスリートやオリンピックなどをイベントに招き、市民と交流する機会を創出します。



アスリート・有識者によるシンポジウム

(3) 国内外のトップレベルの大会開催支援

総合体育館「さわやかアリーナ」やエコパスタジアム・アリーナをはじめとする市内のスポーツ施設におけるトップアスリートによる国際大会や全国大会などの誘致・開催支援を行い、トップレベルの競技スポーツの観戦機会を創出し、スポーツへ取り組む意欲を高めます。

① 大規模スポーツ大会やプロスポーツなどの観戦機会の提供

トップレベルのスポーツ大会やプロスポーツの試合の開催に合わせて、競技に関する知識を深め、観戦意欲を向上させるため、解説付き観戦会を開催するほか、大会や試合の情報を積極的に発信し、観戦促進を図ります。

主な取り組み内容	事業概要
ラグビー新リーグなどプロスポーツの観戦会の開催	エコパスタジアムなどで開催されるラグビー新リーグなどのプロスポーツ開催時に解説付き観戦会を開催します。
大規模スポーツ大会やプロスポーツの開催情報の発信	総合体育館「さわやかアリーナ」やエコパで開催される大規模スポーツ大会やプロスポーツの情報を市ホームページや広報誌で発信します。

② トップレベルのスポーツ大会の誘致

総合体育館「さわやかアリーナ」やエコパスタジアム・アリーナにおける国内外のトップレベルのスポーツ大会の誘致や開催支援を行います。

主な取り組み内容	事業概要
プロスポーツなどの誘致・開催支援重点4	総合体育館「さわやかアリーナ」やその他スポーツ施設でのプロスポーツなどの開催を誘致するとともに、広報など主催団体への各種支援を行います。
全国大会などの誘致・開催支援重点4	総合体育館「さわやかアリーナ」やエコパスタジアム・アリーナなどでの全国大会や県大会などの開催を誘致するとともに、広報など主催団体への各種支援を行います。



卓球Tリーグ

③ 全国規模のスポーツイベントの開催支援

競技団体との連携により、エアロビックや自転車競技などの全国大会を開催し、全国からの参加選手や観戦者へのおもてなしとシティプロモーションを行います。併せて、大会の広報活動やデモンストレーションなどを通じた競技の普及啓発を行うとともに、大会ボランティアスタッフや観戦者として、より多くの市民に参画いただけるよう努めます。

主な取り組み内容	事業概要
JOC ジュニアオリンピックカップ全国エアロビック選手権大会の開催支援 重点4	JOC ジュニアオリンピックカップ選手権大会 in 袋井の開催を支援し、エアロビックの推進を図ると同時に本市の魅力を全国に情報発信します。併せて、袋井市発祥のスローエアロビックの普及推進を図ります。
全日本学生ロードレース・カップ・シリーズ東海道どまん中袋井ラウンドの開催支援重点4	全日本学生ロードレース・カップ・シリーズ東海道どまん中袋井ラウンドの開催を支援し、静岡県における東京2020 オリンピック・パラリンピック自転車競技開催のレガシー創出と連動した競技の普及啓発を図ります。



全国エアロビック選手権大会



全日本ロードレース・カップ・シリーズ東海道どまん中袋井ラウンド

5 スポーツを通じた地域の活性化



市内スポーツ関係団体や企業、観光・産業分野との連携・協働により、スポーツの力で交流人口の拡大やまちを元気づける施策を展開します。また、東京 2020 オリンピック・パラリンピックや各種スポーツイベント等を契機として、国内外とのスポーツを通じた交流・共生を推進します。

【成果指標】

成果指標	現状値 (令和元年)	目標値 (令和 7 年)
この 1 年で総合体育館「さわやかアリーナ」またはエコパで観戦した割合	27.1% (令和 2 年)	40.0%
この 1 年で総合体育館「さわやかアリーナ」でプロスポーツの試合や全国規模の大会を開催した回数	1 回	6 回

(1) スポーツによる交流人口の拡大

市内のスポーツ施設や観光資源の特性を活かし、これまで個別に実施されてきた「スポーツ」と「観光」を結びつけることで、スポーツを「観る(観戦)」、「する(楽しむ)」だけではなく、周辺の観光や、スポーツを「支える」人々との交流など地域連携も付加した、スポーツによる本市の魅力発信の機会を創出します。

① 市内スポーツ施設を活用したスポーツツーリズムの推進

スポーツ選手や観戦者など、スポーツを通じて市内へ人を呼び込み、国内外からの交流人口の増加を目指すとともに、スポーツ大会への参加や観戦などで本市を訪れた方に対して、本市の観光資源を最大限に活用し、経済波及効果の拡大を目指すことで、シティプロモーションと本市の観光力の向上につなげます。

主な取り組み内容	事業概要
スポーツ観戦と観光をマッチングしたツアーの開発 重点 4	観光資源とスポーツイベントなどのマッチングを行い、ツアーなどの開発とともに、“ここでしか体験できない”本市におけるスポーツの魅力やHPなどを通じて周知します。
観戦者への観光情報の提供 重点 4	観戦目的で総合体育館「さわやかアリーナ」やエコパスタジアム・アリーナなどの市内スポーツ施設に来場する方に対し、施設ホームページや当日会場において観光情報等を発信します。

② 全国大会やスポーツ合宿などの誘致・開催支援

市内のスポーツ施設や宿泊施設を活用した全国大会など大規模な大会をはじめ、スポーツイベントの開催やスポーツ合宿・キャンプなどの積極的な誘致と実施団体への支援に努めます。

主な取り組み内容	事業概要
全国大会などの誘致 重点4	全国各地からの参加や市内での宿泊が期待できる全国大会や競技会などの誘致を行います。
スポーツ合宿・キャンプなどの誘致 重点4	市内のスポーツ施設・宿泊施設でのスポーツ合宿・キャンプ等の積極的な誘致に努め、長期継続的な人的交流を図ります。

③ スポーツイベントを活用したシティプロモーション

総合体育館「さわやかアリーナ」やエコパ等で開催されるプロスポーツをはじめとするスポーツイベントや全国大会の会場等で観光や特産品を紹介し、市の魅力発信を行います。

主な取り組み内容	事業概要
スポーツイベントでのシティプロモーション活動の実施	総合体育館「さわやかアリーナ」やエコパで開催されるスポーツイベントや大規模な大会などにおいて、来場者を対象とした市の魅力発信を行います。



RWC2019™ おもてなしエリア

④ ラグビーワールドカップ2019™のレガシー創出

ラグビーワールドカップ2019™の盛り上がりを一過性のもので終わらせることなく、静岡県が取り組む「エコパの聖地化」に向けた取り組みに賛同し、県や関係機関とともに「エコパ」や「ラグビー」をキーワードとした地域活性化に向けた事業を推進します。また、小中学生を対象としたラグビー関連の授業や事業の実施を継続することで、ラグビーが持つ競技特性や精神などを活かした教育を推進するほか、他の開催地などとのラグビーを通じた交流を図ります。

主な取り組み内容	事業概要
エコパのラグビー聖地化に向けた県などとの協働 重点4	エコパの「ラグビー聖地化」に向けた静岡県や関係市などの取り組みと連携し、ラグビーに関連する地域活性化に繋がるイベントの開催や競技普及事業の実施などを検討します。
ラグビー教育の推進 重点4	市内小中学校でのタグラグビーやラグビーに関連する授業の実施を促進します。
他の開催都市などとの交流 事業重点4	他の開催都市（釜石市など）とのタグラグビーを通じた交流事業を実施します。
ラグビー競技の普及 重点4	ヤマハ発動機ジュビロや近隣で活動する社会人ラグビークラブなどとの協働による「する」「観る」ラグビーの普及啓発を図ります。



釜石市とのタグラグビー交流



静岡県がエコパに設置したラグビーモニュメント

(2) 企業などとの連携によるスポーツ活動の推進

民間企業のスポーツ活動を支援するとともに、民間スポーツクラブ・スポーツ教室との連携を図り、市民のスポーツ環境の充実を図ります。併せて、企業に対して、スポーツ分野での包括的な連携やスポーツイベントへの協賛を呼び掛けるなど、スポーツと経済活動の連携を強化します。

また、地元プロスポーツチームへの活動支援と連携により、スポーツで地域を盛り上げる基盤を形成します。

① 企業と連携したイベントなどの開催

企業におけるスポーツ活動や健康づくりに関連する取り組みを積極的に支援するとともに、市内で開催されるスポーツイベントや教室などの情報を企業を通して発信し、それぞれが持つ専門性や情報などを共有することで、企業の活力向上と市内在勤者のスポーツ活動を推進します。

主な取り組み内容	事業概要
企業のスポーツイベントへの支援【再掲】	企業対抗体育大会やJ Rさわやかウオーキングなどの企業独自のスポーツイベントの開催を支援します。
スポーツイベントにおける企業との連携	スポーツイベントへの企業協賛や参加賞の提供など市内企業との協力・連携を図ります。
包括連携協定に基づく企業との協働	すでに包括連携協定を締結する企業とのスポーツ分野での連携機会を増やすとともに、企業側からの要望に応じて、市内企業やスポーツ分野で専門性を持つ企業との包括連携協定の締結に向けた取り組みを進めます。

② プロスポーツチームなどとの連携・協働

地元プロスポーツチームなどと連携し、スポーツ教室や競技体験会など市民が直接トップレベルの選手とふれあう機会を提供します。また、チームの活動や試合日程の広報活動を充実し、市民のスポーツへの関心を高めます。

主な取り組み内容	事業概要
小中学校派遣事業の実施	地元プロスポーツチームの選手やコーチなどの関係者を市内小中学校へ派遣し、チームと小中学生の交流を図ります。
広報活動の充実	地元プロスポーツチームの活動や試合日程などについて広く市民に広報するとともに、ホームページやメローねっとなどを通じて広報活動を充実させ、市民のスポーツへの関心を高めます。

③ 静岡理科大学との協働事業の開催

静岡理科大学との包括連携協定に基づき、公開講座の開催や各種スポーツイベント会場等での同大学の技術・ノウハウの活用など、スポーツ分野における連携を強化し、協働での事業を実施します。

主な取り組み内容	事業概要
公開講座の開催	静岡理科大学公開講座において、スポーツ関連の講師招聘に向けた調整を行います。
各種スポーツイベントへの技術提供	スポーツイベントや試合会場などでの、VRなどの技術を駆使したコンテンツの開発・出展を検討・調整するとともにICTを活用した新たなスポーツ活動やイベントの開催など、研究をすすめます。



静岡理科大学公開講座



RWC2019™ 静岡理科大学によるVR体験

(3) スポーツを通じた地域・国際交流の推進

本市のスポーツ施設や地域資源を活かしながら、姉妹都市・友好都市などとの交流を通じて、市外・県外からスポーツ選手や観戦者を呼び込むほか、本市に関わりのある海外スポーツ団体との交流を契機としたまちの国際化を推進します。

① 姉妹都市、友好都市などとのスポーツを通じた交流

姉妹都市の長野県塩尻市や友好都市の山梨県北杜市、宮城県岩沼市などとのスポーツを通じた交流を推進します。

主な取り組み内容	事業概要
姉妹都市、友好都市などとの交流事業の開催	姉妹都市の長野県塩尻市や友好都市の山梨県北杜市、宮城県岩沼市などと連携し、小中学生の派遣などスポーツイベントにおける相互の交流を推進します。

② アイルランドなどとのスポーツを通じた国際交流

本市とアイルランドは、ラグビーワールドカップ 2019™のエコパスタジアムでの試合開催や、東京 2020 オリンピック事前キャンプ地決定及びホストタウン登録などを通して、近年関係が深化しています。同国のスポーツ選手と市内の小中学生との交流やスポーツを通じて魅力あふれるアイルランド文化にふれる機会を創出します。

主な取り組み内容	事業概要
アイルランドチームの事前キャンプ等の受入	東京 2020 オリンピックに伴うアイルランドオリンピックチームの事前キャンプ地に決定していることから、キャンプ受入を行うとともに、オリンピック以降も関係性を継続し、同国とのスポーツを通じた交流により国際交流を深めます。
聖パトリックスデー関連イベントの開催	アイルランドの祝日・聖パトリックスデーに合わせてアイルランドのスポーツや文化を発信するイベントを開催します。
スポーツを通じた交流の推進	アイルランドなどとのスポーツを通じた市民の相互交流に向けた調整・研究を行います。



アイルランド柔道チームとの交流

③ 外国人市民とのスポーツを通じた多文化共生の推進

スポーツイベント情報の発信や市内公共スポーツ施設の利用方法の案内をやさしい日本語や多言語で行うなど、外国人市民の参画を促し、スポーツを通じたコミュニケーションを図ることで、互いの文化や価値観を認め合い、多文化共生を推進し、国際社会に開かれたまちづくりを進めます。

主な取り組み内容	事業概要
スポーツ関連情報の多言語による発信	スポーツイベント情報や施設利用情報をホームページやSNSなどを活用して多言語により発信し、外国人市民の参画促進を図ります。
スポーツイベントの開催支援	袋井国際交流協会などと連携し、外国人によるスポーツイベントの開催を支援します。



RWC2019™ 通訳の活動



日越国交樹立 45 周年記念サッカー大会

1 各主体の役割

計画の推進に向けては、市民が主体的にスポーツに取り組むことはもとより、行政のみならず、スポーツ関係団体や各種関連機関も本計画の示す方向性を共有化しながら、互いに自らの特性を活かして、スポーツ推進の担い手となって取り組むことが重要になります。

関係者		期待される役割
	市民	スポーツ推進の主役として、多様性に応じた運動・スポーツの実践により、健康増進を図り生活をより豊かなものにするとともに、各種スポーツイベントに積極的に参画することで、まちを活気づける主体となっていくことが期待されます。
スポーツ関係団体	市スポーツ協会	市スポーツ協会は、設立から 60 年以上の歴史を持ち、所属する各競技部や各地区の支部、スポーツ少年団など中核組織として、より多くの市民がスポーツに親しみ・楽しむことができる生涯スポーツの推進及び競技スポーツの充実・強化といった重要な役割を担っています。 各支部における地域コミュニティの活性化に向けた取り組みの実施はもとより、近年では、ラグビーワールドカップ 2019 [™] のレガシー創出やスポーツツーリズムの推進に向けた取り組みを始動し、行政や観光、産業をはじめとする各種団体等とのより一層の連携による地域の活性化への取り組みが期待されています。
	各種スポーツ関係団体	総合型地域スポーツクラブをはじめとする各種スポーツ関係団体のそれぞれの特性を活かしながら、市民が生涯を通じて楽しくスポーツを実施できる環境や機会の充実に向けた取り組みが期待されます。
	学校など (幼・小・中・高等学校)	幼児期からの運動習慣の定着や学校体育・運動部活動においては、児童・生徒などの運動機会の確保と体力向上、運動・スポーツ習慣の定着化に向けた継続的な取り組みが期待されるとともに、運動部活動の在り方の変化に応じた社会体育とのより一層の連携が求められています。 また、小中学校においては、学校体育施設の開放を行い、地域の身近なスポーツ活動の場を提供します。
	大学	大学が有している人材や施設・設備、情報、ノウハウなどの資源の活用や研究分野での協力などにより、地域や市民スポーツ活動、競技スポーツにおける開かれた大学づくりが期待されます。
	企業	従業員への健康意識の啓発やスポーツ活動の奨励などにより、安定した企業経営を担うとともに、施設・設備、情報、技術などの企業が所有する資源活用やスポーツイベントへの参画など、行政との幅広い連携が期待されます。

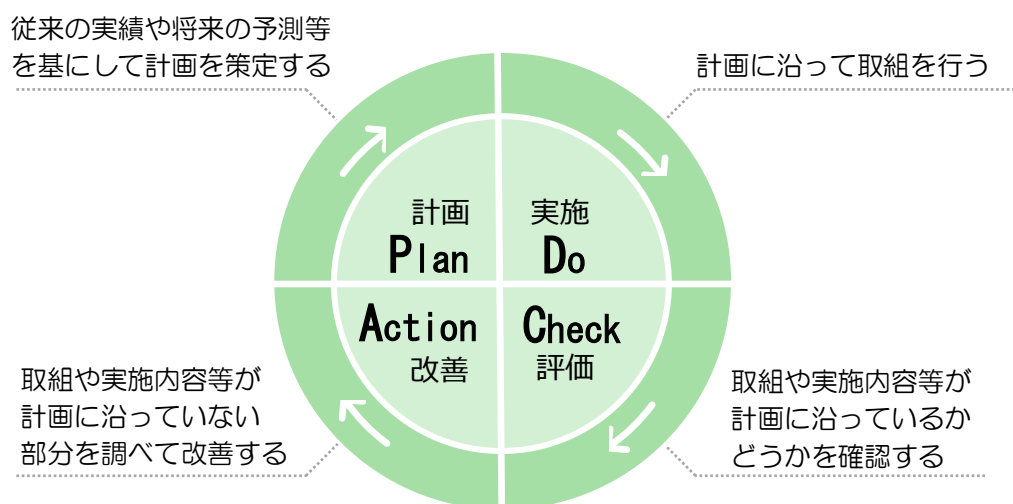
関係者		期待される役割
	指定管理者	民間のノウハウを最大限に活かし、より多くの市民が快適に利用できるよう適切な施設運営及び維持管理を行います。 また、各種スポーツ関係団体などとの連携によるスポーツイベントやスポーツ教室・講座の開催、全国的な行事・大会の誘致など、各施設や指定管理者の特性に応じたスポーツ環境の提供が期待されます。
	スポーツ推進委員会	市民への様々なスポーツの実技指導や助言、スポーツレクリエーション活動のサポート、ニュースポーツの普及など、ライフステージ毎の市民ニーズや地域特性などに応じたスポーツ活動推進の担い手として活動します。
	スポーツ推進審議会	学識経験者やスポーツ関係団体の代表者などで構成し、本計画に基づく本市のスポーツ活動における各種取り組みの進捗を随時確認するとともに、各分野の専門的な見地より重点施策等の重要事項について審議します。審議会における提言・意見については、可能な限り本市のスポーツ推進事業に反映させます。
	行政	多くの市民がそれぞれのライフステージに合わせ、生涯を通じてスポーツに親しめる環境を提供するため、各種スポーツ施策を総合的、一元的に推進するとともに、庁内関係各課や各種スポーツ関係団体はもとより、市内の産業・観光分野などとの幅広い連携により、スポーツによる地域の活性化に取り組みます。 また、指定管理者制度やPFI事業の活用による公共スポーツ施設の適切な運営・管理に努め、市民のスポーツ環境の充実を図ります。

2 / 計画の推進体制

(1) 計画の進行管理

本計画を推進していくためには、計画の進捗状況を把握し、計画的に取組を進めていくことが必要です。そのため、計画の進捗状況の検証及び評価については、「袋井市スポーツ推進審議会」に報告し、改善の検討などを行います。

計画を効果的かつ着実に推進するために、「PDCAサイクル」[計画(Plan)→実行(Do)→点検・評価(Check)→改善(Action)]を確立し、継続的に計画の進行管理を実施していきます。



(2) 行政における推進体制の強化

本計画は、スポーツ・健康づくりに関する事項を定めた他計画と調和が保たれたものでなければなりません。計画の円滑な実施のために、庁内関係各課と計画の進捗状況を共有し、取組を進めていきます。

(3) 国や県、周辺市町との連携

健康づくりへの関心の高まりとともに、スポーツ・レクリエーション活動に対する国民ニーズは高くなっています。国や県と密に情報交換を行いつつ、必要な助言及び適切な援助を受けるとともに、特に専門性の高い施策及び市域を超えた広域的な対応が必要な場合は、連携を強化して取り組んでいきます。



資料編

1 / スポーツを取り巻く現状

(1) 公共スポーツ施設の状況

① 市内スポーツ施設等の建設状況

	施設名	完成	施設機能	競技場等の大きさ
1	浅羽球技場	S52.2	野球場、スタンドなし(芝生斜面)	野球1面、ソフト2面(両翼90m、センター116m)
2	浅羽体育センター	S55.5	競技場、卓球室、会議室、更衣室	競技場(バレー2面、バスケ1面)、卓球室(卓球5台)
3	袋井体育センター	S56.3	競技場、卓球室、会議室、更衣室	競技場(バレー2面、バスケ1面)、卓球室(卓球5台)
4	袋井東地区コミュニティ広場	S56	多目的広場	ソフト約1面
5	愛野公園テニスコート	S56.3	テニスコート	4面(クレー) 42m×75m
6	浅羽テニスコート	S57.3	テニスコート	2面(砂入り人工芝)
7	愛野公園野球場	S57.9	野球場、一部スタンドあり	野球1面、ソフト1面(両翼92m、センター118m)
8	浅羽北多目的運動広場	S59.2	多目的広場	野球1面、ソフト2面
9	袋井北地区コミュニティ広場	S60	多目的広場	グラウンドゴルフ1面
10	山名コミュニティセンタートレーニング室	S60.9	トレーニング室	約120㎡
11	笠原地区コミュニティ広場	S61	多目的広場	ソフト1面
12	愛野公園弓道場	S63.4	弓道場	射場171.4㎡
				的場70.88㎡
13	袋井B&G海洋センター	H1.3	プール、更衣室等	25m×6コース、幼児用プール
14	浅羽西多目的運動広場	H2	多目的広場	ソフト1面
15	堀越公園多目的広場	H2.5	多目的広場	ソフト1面、サッカー1面
16	浅羽東多目的運動広場	H3	多目的広場	ソフト1面
17	原野谷川スポーツ公園グラウンド	H4.4	多目的広場	サッカー1面
18	二瀬多目的運動広場	H6.10	多目的広場	サッカー1面
19	愛野公園相撲場	H7.9	相撲場	野外土俵
20	国道1号バイパス高架下多目的広場	H8.2	多目的広場	ゲートボール3面、バスケ1面

	施設名	完成	施設機能	競技場等の大きさ
21	原野谷川親水公園東側広場	H8. 4	多目的広場	サッカー1面、ソフト2面
22	田原緑地グラウンド	H10. 3	多目的広場	サッカー1面
23	山名コミュニティセンターテニスコート	H10. 6	テニスコート	3面（砂入り人工芝）
24	月見の里学遊館水玉プール	H12. 12	プール、更衣室等	25m×7コース、児童・幼児用プール、ジャグジー、寝湯等
25	月見の里学遊館トレーニングルーム	H12. 12	トレーニング室	約100㎡
26	月見の里学遊館フィットネスルーム	H12. 12	フィットネス室	約160㎡
27	虹のささやき公園グラウンド	H13. 3	多目的広場	ソフト1面
28	エコパスタジアム	H13. 3	陸上トラック、サッカー	陸上400mトラック9レーン、サッカー1面
29	エコパ補助競技場	H13. 3	陸上トラック、サッカー	陸上400mトラック6レーン、サッカー1面
30	エコパ投てき練習場	H13. 3	陸上	やり、砲丸、ハンマー、円盤投げ専用の練習場
31	エコパ多目的広場等	H13. 3	多目的広場	多目的運動広場、人工芝ピッチ、芝生広場③、グラウンド③
32	エコパアリーナ	H13. 12	競技場、多目的室、会議室、観客席等	競技場（バレー4面、バスケ4面）、会議室等
33	エコパアリーナトレーニングルーム	H13. 12	トレーニング室	約370㎡
34	エコパアリーナ研修室（フィットネス）	H13. 12	フィットネス室	113㎡
35	広岡河川公園グラウンド	H14. 3	多目的広場	ソフト3面（うち1面はR2.3完成）
36	中遠クリーンセンター多目的広場	H20. 8	多目的広場	サッカー1面
37	エコパサブアリーナ	H21. 3	競技場、観客席等	競技場（バレー2面、バスケ2面）
38	風見の丘プール室	H23. 3	プール、更衣室等	25m×6コース・歩行用20m×2コース、子ども用プール、ジャグジー等
39	風見の丘トレーニング室	H23. 3	トレーニング室	約130㎡
40	風見の丘フィットネス室	H23. 3	フィットネス室	約100㎡
41	宇刈里山公園多目的広場	H24. 4	多目的広場	ゲートボール、グラウンドゴルフ等3箇所
42	（仮称）春岡多目的広場	H27. 3	多目的広場	サッカー1面、グラウンドゴルフ等
43	三川地区コミュニティ広場	H28. 3	多目的広場	ソフト1面、サッカー1面 グラウンドゴルフ等
44	三川地区コミュニティ広場テニスコート	H28. 3	テニスコート	テニス2面（砂入り人工芝）
45	総合体育館「さわやかアリーナ」メインアリーナ	R1. 9	競技場、観客席	バレー3面、バスケ2面、バドミントン8面
46	総合体育館「さわやかアリーナ」サブアリーナ	R1. 9	競技場	バレー1面、バスケ1面、バドミントン4面
47	総合体育館「さわやかアリーナ」武道場兼多目的フロア	R1. 9	柔道場、剣道場等	約581㎡（柔道場2面、剣道場2面）
48	総合体育館「さわやかアリーナ」多目的室	R1. 9	多目的室	ダンス、エアロビクス、軽運動等

	施設名	完成	施設機能	競技場等の大きさ
49	総合体育館「さわやかアリーナ」トレーニング室	R1.9	トレーニング室	約 253 m ²
50	長溝テニスコート	—	テニスコート	1 面

② 市内学校体育施設（体育館、武道場）の建設状況

No.	学校名	建設年月	延べ床面積 (単位：m ²)	構造	経過年数 (単位：年)
1	袋井南中学校体育館	S53・1	1,292	S造	42
2	浅羽中学校武道場	S53・12	540	S造	41
3	袋井西小学校体育館	S56・3	729	S造	39
4	笠原小学校体育館	S56・3	729	S造	39
5	袋井東小学校体育館	S57・3	743	S造	38
6	三川小学校体育館	S57・3	743	S造	38
7	袋井中学校体育館	S60・3	1,152	S造	35
8	袋井南小学校体育館	S61・3	919	S造	34
9	今井小学校体育館	S61・3	919	S造	34
10	袋井北小学校体育館	S62・3	1,049	S造	33
11	高南小学校体育館	S62・3	919	S造	33
12	浅羽東小学校体育館	H4・2	1,008	R造	28
13	袋井中学校武道場	H4・12	450	S造	27
14	周南中学校体育館	H5・3	1,390	S造	27
15	周南中学校武道場	H5・12	459	S造	26
16	袋井南中学校武道場	H5・12	455	S造	26
17	山名小学校体育館	H6・2	919	S造	26
18	浅羽南小学校体育館	H11・7	1,215	R造	20
19	浅羽中学校体育館	H19・2	1,516	S造	13
20	浅羽北小学校体育館	H22・2	949	S造	10

*令和元年度公立学校施設台帳より。経過年数は令和2年4月1日現在

③ 市内学校体育施設（グラウンド）の状況

No.	学 校 名	面 積 (単位：㎡)	夜間照明施設の状況
1	袋井東小学校グラウンド	13,671	有
2	袋井西小学校グラウンド	13,067	
3	袋井南小学校グラウンド	10,909	
4	袋井北小学校グラウンド	9,571	
5	今井小学校グラウンド	5,957	有
6	三川小学校グラウンド	7,186	有
7	笠原小学校グラウンド	9,285	
8	山名小学校グラウンド	16,767	有
9	高南小学校グラウンド	11,817	有
10	浅羽南小学校グラウンド	10,003	
11	浅羽北小学校グラウンド	12,122	有
12	浅羽東小学校グラウンド	8,836	
13	袋井中学校グラウンド	17,367	有
14	周南中学校グラウンド	9,174	有
15	袋井南中学校グラウンド	21,969	有
16	浅羽中学校グラウンド	24,118	

* 令和元年度公立学校施設台帳より

④ 主要な競技種目ごとの市内スポーツ施設利用人数について

令和元年度利用者数

順位	競技種目	利用人数	割合
1	水泳	135,499人	30.93%
2	トレーニング（ルーム）	33,516人	7.65%
3	バスケットボール	32,002人	7.31%
4	バレー・ソフトバレー	30,440人	6.95%
5	野球	29,393人	6.71%
6	卓球	26,671人	6.09%
7	サッカー・フットサル	22,030人	5.03%
8	テニス・ソフトテニス	17,892人	4.08%
9	フィットネス・軽運動教室	16,598人	3.79%
10	空手	10,033人	2.29%
11	バドミントン・ファミリーバドミントン	9,970人	2.28%
12	剣道	8,488人	1.94%
13	インディアカ	6,462人	1.48%
14	陸上	6,373人	1.45%
15	新体操	5,990人	1.37%
16	エアロビック・体操	5,026人	1.15%
17	弓道	4,508人	1.03%
18	柔道	3,932人	0.90%
19	グラウンドゴルフ	3,879人	0.89%
20	ソフトボール	3,432人	0.78%
21	フーバ	2,055人	0.47%
22	デカスポ	1,632人	0.37%
23	合気道	701人	0.16%
24	バウンドテニス	602人	0.14%
25	相撲	556人	0.13%
26	真向法	232人	0.05%
27	吹奏楽・マーチング	48人	0.01%
28	その他（会議室利用など）	20,054人	4.58%
合計		438,014人	100%

⑤ 市内公共スポーツ施設の利用状況

ア 体育館

単位：人

No.	施設名	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
1	袋井市民体育館（柔剣道場は除く）	37,298	36,704	34,223
2	浅羽体育センター	58,513	54,286	46,688
3	袋井体育センター	36,187	36,549	34,340
合 計		131,998	127,539	115,251

*袋井市民体育館は令和2年3月閉館 *総合体育館「さわやかアリーナ」は令和2年4月供用開始

イ 武道場

単位：人

No.	施設名	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
1	袋井市民体育館柔剣道場	9,505	9,068	9,174
2	愛野公園相撲場	1274	1375	556
3	愛野公園弓道場	19,723	21,893	4,508
合 計		30,502	32,336	14,238

*袋井市民体育館は令和2年3月閉館 *総合体育館「さわやかアリーナ」は令和2年4月供用開始

ウ 野球場

単位：人

No.	施設名	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
1	浅羽球技場	25,525	26,472	21,113
2	愛野公園野球場	14,692	17,037	4,839
合 計		40,217	43,509	25,952

エ テニスコート

単位：人

No.	施設名	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
1	愛野公園テニスコート	12,502	13,562	7,381
2	浅羽テニスコート	10,890	11,046	10,009
3	山名コミュニティセンターテニスコート	6,537	6,742	6,358
4	長溝テニスコート	1,068	1,155	935
合 計		30,997	32,505	24,683

オ プール

単位：人

No.	施設名	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
1	袋井B & G海洋センター	87,252	68,710	25,085
2	月見の里学遊館水玉プール	52,077	55,651	55,387
3	風見の丘プール	55,436	55,006	55,027
合 計		194,765	179,367	135,499

*浅羽B & G海洋センターは平成28年8月閉館

カ トレーニングルーム

単位：人

No.	施設名	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
1	山名コミュニティセンタートレーニング室	4,804	4,777	4,272
2	月見の里学遊館トレーニングルーム	7,174	6,919	6,737
3	風見の丘トレーニング室	17,558	19,039	18,924
合 計		29,536	30,735	29,933

*総合体育館「さわやかアリーナ」トレーニング室は令和2年4月供用開始

キ 多目的広場等

単位：人

No.	施設名	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
1	原野谷川親水公園東側広場	19,469	28,864	8,054
2	堀越公園多目的広場	11,074	10,972	8,993
3	国道1号バイパス高架下多目的広場	9,117	6,697	5,509
4	上田町グラウンド	6,976	6,902	4,407
5	浅羽北多目的運動広場	13,360	10,620	10,786
6	浅羽西多目的運動広場	—	3,557	4,579
7	二瀬多目的運動広場	18,781	14,680	8,654
合 計		78,777	82,292	50,982

*上田町グラウンドは令和2年6月閉鎖

ク 公立学校開放施設

単位：人

No.	施設名	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
1	小学校体育館（12校）	64,508	66,173	60,911
2	中学校体育館（4校）	21,471	19,180	17,327
3	中学校柔剣道場（4校）	13,424	12,494	11,270
4	小学校夜間グラウンド（6校）	22,544	22,143	22,107
5	中学校夜間グラウンド（3校）	18,659	16,610	13,853
合 計		140,606	136,600	125,468

ケ エコパ（小笠山総合運動公園）

単位：人

No.	施設名	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
1	エコパスタジアム	115,070	43,118	91,322
2	エコパアリーナ	108,802	103,776	79,666
3	エコパサブアリーナ	23,753	42,073	26,766
4	エコパ補助競技場	36,887	39,060	24,142
5	エコパアリーナトレーニングルーム	49,419	54,222	47,358
6	エコパアリーナ内研修室 （フィットネス）	3,951	3,650	3,479
7	その他	80,008	72,054	67,943
合 計		417,890	357,953	340,676

(2) スポーツ団体の状況

① 市スポーツ協会競技部別部員数の状況

令和2年度当初

No.	競技部名	所属部員数	種目別割合
1	野球部	584 人	27.10%
2	サッカー部	150 人	6.96%
3	ソフトボール部	180 人	8.35%
4	インディアカ部	150 人	6.96%
5	グラウンドゴルフ部	173 人	8.03%
6	バレーボール部	120 人	5.57%
7	テニス部	100 人	4.64%
8	新体操部	96 人	4.45%
9	剣道部	98 人	4.55%
10	バスケットボール部	40 人	1.86%
11	弓道部	58 人	2.69%
12	ゴルフ部	58 人	2.69%
13	卓球部	10 人	0.46%
14	エアロビック部	26 人	1.21%
15	山の会	35 人	1.62%
16	柔道部	31 人	1.44%
17	合気道部	20 人	0.93%
18	クレー射撃部	38 人	1.76%
19	バウンドテニス部	35 人	1.62%
20	陸上競技部	36 人	1.67%
21	水泳部	17 人	0.79%
22	ゲートボール部	10 人	0.46%
23	相撲部	10 人	0.46%
24	バドミントン部	16 人	0.74%
25	空手部	45 人	2.09%
26	ウェルネススポーツ吹矢	11 人	0.51%
27	トランポリン	8 人	0.37%
合 計		2,155 人 (内少年団 564 人)	100%

② 市スポーツ少年団の状況

令和2年度当初

	競技部名	登録団体	登録団員数	指導者・ スタッフ数
1	野球	9 団体	190 人	64 人
2	サッカー	5 団体	139 人	31 人
3	バレーボール	3 団体	65 人	18 人
4	卓球	3 団体	62 人	23 人
5	陸上競技	1 団体	39 人	24 人
6	水泳	1 団体	18 人	4 人
7	ミニバスケット	1 団体	10 人	4 人
8	剣道	1 団体	16 人	3 人
9	空手	2 団体	25 人	9 人
合 計		26 団体	564 人	180 人

(3) 中学校・高等学校運動部員数の状況

① 市内中学校の運動部員数の加入状況

令和2年度加入時人数、単位：人

		袋 井	袋井南	周 南	浅 羽	計	種目別 割合
1	陸上競技	78	84	114	86	362	20.21%
2	水泳	48	20	41	41	150	8.38%
3	サッカー	45	39	40	51	175	9.77%
4	女子ソフトテニス	31	43	41	33	148	8.26%
5	男子バスケット	45	34	40	30	149	8.32%
6	男子卓球	43	22	58	32	155	8.65%
7	剣道	22	35	36	17	110	6.14%
8	女子卓球	42	12	39	22	115	6.42%
9	野球	34	22	26	30	112	6.25%
10	女子バスケット	26	—	23	30	79	4.41%
11	女子バレー	20	29	20	18	87	4.86%
12	男子ソフトテニス	31	—	—	49	80	4.47%
13	男子バレー	17	—	—	—	17	0.95%
14	ソフトボール	23	—	—	21	44	2.46%
15	柔道	8	—	—	—	8	0.45%
合計		513	340	478	460	1,791	100%
全校生徒		792	496	736	610	2,634	R2.7.10 現在
加入率		64.77%	68.55%	64.95%	75.41%	68.00%	—

② 市内高等学校の運動部員数の加入状況

令和2年度加入時人数

高校名	全校生徒	加入者数	加入率	運動部活動種目
袋井	888人	543人	61.15%	野球、陸上競技、サッカー、卓球、水泳、男女テニス、男女バスケットボール、男女バレーボール、弓道、剣道、ダンス、バドミントン
袋井商業	474人	234人	49.37%	野球、陸上競技、サッカー、卓球、水泳、男女テニス、男女バスケットボール、女子バレーボール

(4) 指導者の状況

① 市スポーツ推進委員の状況（令和2年4月1日現在）

単位：人

スポーツ推進委員数			人口	スポーツ推進委員 1人当たり 住民数	活動内容
男	女	合計			
16	16	32	88,316	2,760	スポーツ基本法の規定に基づき、地域住民に対し、スポーツ実技などの指導を行います。

② 市内の各スポーツ指導者の状況（令和2年4月1日現在）

ア （財）日本体育協会公認スポーツ指導者数

単位：人

種目	登録者数	活動内容
水泳	15	資格を取得した指導者（資格者）は、個々のクラブ教室、または少年団の指導者として活動をしています。また、学校部活動の外部指導者にも多くの指導者が活躍しています。 昨今の取り上げられる、スポーツ現場での暴力やハラスメントなどのあらゆる反倫理的行為に対して、指導者制度改定を行い、指導者資質の向上を一層図っています。
ソフトボール	11	
バレーボール	12	
弓道	5	
陸上競技	6	
テニス	4	
ソフトテニス	5	
剣道	3	
バスケットボール	-	
空手道	3	
エアロビック	2	
プロスキー	1	
卓球	2	
新体操	1	
柔道	1	
ボート	1	
スケート	2	
なぎなた	1	
ジュニアスポーツ指導員	12	
スポーツプログラマー	1	
アスレティックトレーナー	6	
スポーツ栄養士	1	
スポーツリーダー	8	

（静岡県スポーツ協会より）

イ （財）日本レクリエーション協会公認指導者数

単位：人

名称	指導者数			指導内容
	男	女	合計	
レクリエーション インストラクター	4	25	29	レクリエーション全般にわたる指導を行います。

（静岡県レクリエーション協会より）

ウ 静岡県トリム指導者

単位：人

名称	指導者数			指導内容
	男	女	合計	
静岡県トリム指導者	—	3	3	体操・レクリエーション種目・運動指導等広い範囲に指導を行い、生涯スポーツの指導を行います。

(静岡県レクリエーション協会より)

エ スポーツ少年団指導者

単位：人

名称	有資格者数			指導内容
	育成員	認定員	合計	
スポーツ少年団指導者	11	107	118	スポーツ少年団指導者の中核であるとともに市町・県スポーツ少年団の組織指導者として活動の活性化を図ります。地域における単位団活動の中心指導者として指導・運営にあたります。

(静岡県スポーツ協会より/本項目のみ R2.3 末時点)

(5) 令和元年度全国体力・運動能力・運動習慣等調査結果

※令和2年度は実施なし

① 子どもの体力状況について

ア 小学校5年生男子

区分		種目	握力 (kg)	上体起 こし (回)	長座体 前屈 (cm)	反復横 とび (点)	20m シャト ルラン (回)	50m 走 (秒)	立ち幅 とび (cm)	ソフト ボール 投げ (m)
男子 (小学校 5年生)		袋井市	15.80	18.03	32.23	42.21	47.25	9.47	146.76	19.21
		静岡県	15.93	19.12	31.84	41.34	51.29	9.47	151.11	20.37
		全 国	16.37	19.80	33.24	41.74	50.32	9.42	151.45	21.61
	比較	県	●	●	○	○	●	△	●	●
全国		●	●	●	○	●	●	●	●	

*○は市の記録が上回っている。●は市の記録が下回っている。△は同記録。

イ 小学校5年生女子

区分		種目	握力 (kg)	上体起 こし (回)	長座体 前屈 (cm)	反復横 とび (点)	20m シャト ルラン (回)	50m 走 (秒)	立ち幅 とび (cm)	ソフト ボール 投げ (m)
女子 (小学校 5年生)		袋井市	16.06	18.28	37.54	40.67	39.80	9.65	142.81	13.04
		静岡県	15.90	18.46	36.39	40.21	42.98	9.62	146.91	13.89
		全 国	16.09	18.95	37.62	40.14	40.79	9.64	145.68	13.61
	比較	県	○	●	○	○	●	●	●	●
全国		●	●	●	○	●	●	●	●	

*○は市の記録が上回っている。●は市の記録が下回っている。△は同記録。

ウ 中学2年生男子

区分		種目	握力 (kg)	上体起 こし (回)	長座体 前屈 (cm)	反復横 とび (点)	持久走 (秒)	50m 走 (秒)	立ち幅 とび (cm)	ハンド ボール 投げ (m)
男子 (中学2年生)	袋井市		28.55	25.81	42.18	52.46	396.20	7.97	196.25	20.14
	静岡県		28.37	27.07	43.53	52.70	391.10	7.95	198.21	20.76
	全 国		28.65	26.96	43.50	51.91	398.98	8.02	195.03	20.40
	比較	県	○	●	●	●	●	●	●	●
全国		●	●	●	○	○	○	○	○	●

*○は市の記録が上回っている。●は市の記録が下回っている。△は同記録。

エ 中学2年生女子

区分		種目	握力 (kg)	上体起 こし (回)	長座体 前屈 (cm)	反復横 とび (点)	持久走 (秒)	50m 走 (秒)	立ち幅 とび (cm)	ハンド ボール 投げ (m)
女子 (中学2年生)	袋井市		24.16	22.76	45.83	47.46	280.50	8.68	174.88	13.21
	静岡県		23.94	23.90	47.57	47.80	283.36	8.68	174.66	13.74
	全 国		23.79	23.69	46.32	47.28	289.82	8.81	169.90	12.96
	比較	県	○	●	●	●	○	△	○	●
全国		○	●	●	○	○	○	○	○	

*○は市の記録が上回っている。●は市の記録が下回っている。△は同記録。

② 子どもの運動やスポーツへの興味・関心について

【参考とするアンケート項目】

運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。

ア 小学校5年生男子

単位：％

	袋井市	静岡県	全国
好き	69.2	69.1	71.2
やや好き	22.6	24.1	22.1
ややきらい	6.6	4.8	4.6
きらい	1.7	2.0	2.0

イ 小学校5年生女子

単位：％

	袋井市	静岡県	全国
好き	58.1	52.7	55.5
やや好き	32.5	34.2	32.1
ややきらい	6.2	10.0	9.0
きらい	3.1	2.1	3.3

ウ 中学2年生男子

単位：％

	袋井市	静岡県	全国
好き	60.9	63.8	62.9
やや好き	27.6	25.7	26.5
ややきらい	7.9	7.6	7.1
きらい	3.7	2.9	3.5

エ 中学2年生女子

単位：％

	袋井市	静岡県	全国
好き	45.3	45.3	46.9
やや好き	30.4	33.0	32.3
ややきらい	17.0	15.5	14.3
きらい	7.3	6.2	6.6

2 計画策定の経緯

(1) 計画策定までの経過

① 袋井市スポーツ推進審議会

開催日	会議名
令和2年6月29日	令和2年度第1回スポーツ推進審議会
令和2年9月29日	令和2年度第2回スポーツ推進審議会
令和3年1月13日	令和2年度第3回スポーツ推進審議会

② 第4次袋井市スポーツ推進計画策定等に係る市民意識調査

実施期間	調査概要
令和2年6月1日～15日	市内在住の18歳以上の方3,000人を対象に実施 回答件数：1,253件 有効回答率：41.8%

③ 関係団体からの意見聴取

実施時期	団体名
令和2年8月	袋井市スポーツ推進委員会
令和2年8月	一般社団法人袋井市スポーツ協会
令和3年1月	袋井市教育委員会（1月29日定例会）

④ パブリックコメント

実施時期	調査概要
令和2年11月5日 ～12月4日	閲覧：市役所2階スポーツ政策課・情報公開コーナー 浅羽支所、月見の里学遊館、さわやかアリーナ はーとふるプラザ袋井、市ホームページ 意見提出者数：6人 提出意見数：11件

⑤ 袋井市議会

開催日	会議名
令和2年7月29日	民生文教委員会にて計画策定概要について報告
令和2年10月27日	民生文教委員会にて計画（素案）について協議
令和2年11月9日	全員協議会にて計画（素案）について協議
令和3年3月10日	2月議会民生文教委員会にて計画（最終案）について協議

(2) 袋井市スポーツ推進審議会条例

●袋井市スポーツ推進審議会条例

(設置)

第1条 袋井市は、スポーツの推進を図るためスポーツ基本法（平成23年法律第78号。以下「法」という。）第31条の規定に基づき、袋井市スポーツ推進審議会（以下「審議会」という。）を置く。

(所掌事務)

第2条 審議会は、法第35条に規定するもののほか、市長の諮問に依りて、スポーツの推進に関する次に掲げる事項について調査審議し、及びこれらの事項に関して市長に意見を述べることができる。

- (1) スポーツの施設及び設備の整備に関すること。
- (2) スポーツの指導者の養成及びその資質の向上に関すること。
- (3) スポーツ事業の実施及び奨励に関すること。
- (4) スポーツ団体の育成に関すること。
- (5) スポーツ事故の防止に関すること。
- (6) スポーツの競技水準の向上に関すること。
- (7) 前各号に掲げるもののほか、スポーツの推進に関すること。

(組織)

第3条 審議会は、委員12人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、市長が委嘱し、又は任命する。

- (1) 学識経験を有する者
- (2) 関係行政機関の職員

(委員の任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(会長及び副会長)

第5条 審議会に会長及び副会長1人を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選により定める。

3 会長は、会務を総理し、審議会を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 審議会の会議は、市長から諮問を受けたとき、又は会長が必要と認めるときに、会長が招集し、その議長となる。ただし、会長が未決定の場合は、市長がこれを招集することができる。

2 審議会の会議は、委員の半数以上が出席しなければ開くことができない。

3 審議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(庶務)

第7条 審議会の庶務は、市民生活部において処理する。

(委任)

第8条 この条例に定めるもののほか、審議会の運営に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この条例は、平成17年4月1日から施行する。

附 則（平成22年3月31日条例第1号抄）

(施行期日)

1 この条例は、平成22年4月1日から施行する。

附 則（平成 23 年 9 月 30 日条例第 25 号）
（施行期日）

1 この条例は、公布の日から施行する。

（袋井市スポーツ推進審議会に関する経過措置）

2 この条例の施行の際現に改正前の袋井市スポーツ振興審議会条例第 3 条第 2 項の規定により委嘱され、又は任命されている袋井市スポーツ振興審議会の委員は、改正後の袋井市スポーツ推進審議会条例第 3 条第 2 項の規定により委嘱され、又は任命された袋井市スポーツ推進審議会の委員とみなす。

附 則（平成 27 年 3 月 31 日条例第 2 号）

この条例は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

（3）袋井市スポーツ推進審議会委員名簿（令和 3 年 3 月時点）

役職	氏名	選出区分
会 長	富田 寿人	学識経験者（静岡理科大学教授）
副会長	鈴木 喜三	袋井市スポーツ推進委員会
委 員	原 加奈子	袋井市スポーツ推進委員会
	金原 正巳	袋井市小中学校校長（浅羽北小学校）
	村松 篤	学識経験者（一般社団法人袋井市スポーツ協会 副会長）
	鈴木 将夫	学識経験者（袋井市陸上競技協会 理事長）
	鈴木 ひろ江	学識経験者（健康運動指導士）
	大場 朝子	学識経験者（袋井市身体障害者福祉会）
	村松 美どり	学識経験者（袋井市エアロビック連盟 会長）
	遠藤 正文	学識経験者（遠鉄スポーツクラブ エスポ袋井 支配人）
	岡田 守	学識経験者（シンコースポーツ株式会社（さわやかアリーナ館長））
	諸井 理恵	学識経験者（山名幼稚園 園長）

*任期：平成 31 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日

（順不同、敬称略）

◆持続可能な開発目標（SDGs）との関係について

平成27（2015）年に国連サミットにおいて、先進国を含む国際社会全体の開発目標として「持続可能な開発目標（SDGs）」が採択されました。「持続可能な開発目標（SDGs）」は、令和12（2030）年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標で、「誰一人取り残さない」社会の実現に向け、17の目標・169のターゲットから構成されています。

本計画では、第4章で示す各施策と、「持続可能な開発目標（SDGs）」の各目標との関係性を整理し、関連付けて推進していきます。

■持続可能な開発目標（SDGs）の17の目標



■特に本計画と関連する目標

<p>3 すべての人に健康と福祉を</p>	<p>あらゆる年齢の全ての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する</p>	<p>4 質の高い教育をみんなに</p>	<p>全ての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する</p>
<p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>	<p>強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る</p>	<p>10 人や国の不平等をなくそう</p>	<p>各国内及び各国間の不平等を是正する</p>
<p>11 住み続けられるまちづくりを</p>	<p>包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する</p>	<p>17 パートナリシップで目標を達成しよう</p>	<p>持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する</p>

第4次袋井市スポーツ推進計画

令和3年3月発行

発行者 袋井市市民生活部スポーツ政策課
〒437-8666 静岡県袋井市新屋一丁目1番地の1
TEL 0538-44-3139 FAX 0538-44-3117